

卷末資料

資料1 作成の経緯

福崎町では、「福崎町文化財保存活用地域計画」の作成に向けて、令和2年(2020)3月に福崎町文化財保存活用地域計画協議会設置要綱を制定し、学識経験者や商工・観光・まちづくり団体等の関係者、行政などで組織する「福崎町文化財保存活用地域計画協議会」(以下、「協議会」という)を組織しました(構成は表S1-1のとおり)。

令和2年(2020)7月31日の第1回協議会を皮切りに、令和3年(2021)1月に第2回協議会、同年3月に第3回協議会、同年7月に第4回協議会、同年11月に第5回協議会を開催して計画内容の協議を行いました。この期間において、令和2年8月12日～9月23日に企業アンケート調査、同年8月20日～9月23日に自治会アンケート調査、同年9月に中学生アンケート調査を実施するとともに、令和2年11月19日～令和3年1月中旬で、文化財協力員への調書配布による歴史文化遺産(石造物、絵馬、祭り・行事)追跡調査を実施しました。また、令和3年6月10日に第1回文化庁協議、同年11月17日に第2回文化庁協議を実施するとともに、令和3年7月16日には福崎町文化財審議委員会において計画作成の進捗状況を報告し、計画内容に対する意見聴取を行いました。

令和3年12月15日～令和4年1月17日の1ヶ月間でパブリックコメントを実施しました。また、同期間中の令和3年12月23日には区長会総会において計画案の概要を説明し、意見聴取を行いました。これらを踏まえて修正した計画素案を、令和4年(2022)2月4日の福崎町文化財審議委員会に諮り、意見聴取を行った上で、同年2月15日に開催した第6回協議会において計画素案を確定させました。そして、同年3月23日の第636回教育委員会に計画素案を上程して、計画案を確定しました。

表 S1-1 福崎町文化財保存活用地域計画協議会 委員一覧

区分	氏名	所属・役職等	備考
福崎町	近藤 博之	福崎町副町長	
	高橋 涉	福崎町教育長	
	野邊 正彦	福崎町技監	
	成田 邦造	福崎町役場地域振興課長	
	山下 勝功	福崎町役場まちづくり課長	
兵庫県	甲斐 昭光	兵庫県教育委員会事務局文化財課課長	
学識経験者	菱田 哲郎	京都府立大学教授	会長
	村上 裕道	京都橘大学教授	
	尾瀬 耕司	神戸建築文化財研究所主宰/兵庫県ヘリテージマネージャー	
	井上 舞	神戸大学大学院人文学研究科特命助教	
商工・観光・まちづくり等関係団体	井垣 和子	一般社団法人ノオト	(～令和4年3月31日)
	後藤 雅一	福崎町観光協会会長	副会長
	釜坂 道弘	福崎町文化財審議委員会会長	(～令和4年3月31日)
	小幡 八郎	福崎町商工会副会長	
	西井 和俊	福崎町区長会代表/福崎町文化財審議委員	
	羽生 崇	株式会社 PAGE	(令和4年4月1日～)
	中塚 保彦	福崎町区長会代表	(令和4年4月1日～)
オブザーバー	大江 篤	園田学園女子大学教授/兵庫県文化財保護審議会委員	(第2回協議会～)

(事務局) 福崎町教育委員会社会教育課

表 S1-2 福崎町文化財審議委員会 委員一覧

【～令和4年3月31日】

専門	氏名	所属・役職等	備考
建築	足立 裕美子	兵庫県ヘリテージマネージャー	副会長
郷土史	釜坂 道弘	—	会長
歴史・工芸	桑谷 祐顕	叡山学院学監	
記念物	西井 和俊	—	
考古	中濱 久喜	相生市教育委員会	

【令和4年4月1日～】

専門	氏名	所属・役職等	備考
建築	足立 裕美子	兵庫県ヘリテージマネージャー	
歴史・工芸	桑谷 祐顕	叡山学院学監	
郷土史・地質学	田崎 正和	—	
記念物	西井 和俊	—	
考古	中濱 久喜	相生市教育委員会	

表 S1-3 「福崎町文化財保存活用地域計画」の作成の経過

	年月日	内容
令和2年 (2020)	3月27日	「福崎町文化財保存活用地域計画協議会設置要綱」の制定
	7月31日	第1回福崎町文化財保存活用地域計画協議会の開催
	8月12日～9月23日	企業アンケート調査の実施
	8月20日～9月23日	自治会アンケート調査の実施
	9月	中学生アンケート調査の実施
令和3年 (2021)	11月19日 ～令和3年1月中旬	歴史文化遺産（石造物、絵馬、祭り・行事）追跡調査の実施
	1月8日	第2回福崎町文化財保存活用地域計画協議会の開催
	3月19日	第3回福崎町文化財保存活用地域計画協議会の開催
	6月10日	第1回文化庁協議（オンライン）
	7月7日	第4回福崎町文化財保存活用地域計画協議会の開催
	7月16日	令和3年度第1回文化財審議委員会での意見聴取
	11月12日	第5回福崎町文化財保存活用地域計画協議会の開催
	11月17日	第2回文化庁協議
	12月23日	区長会総会での意見聴取
令和4年 (2022)	12月15日 ～令和4年1月17日	計画素案に対するパブリックコメントの実施
	2月4日	令和3年度第2回文化財審議委員会での意見聴取
	2月15日	第6回福崎町文化財保存活用地域計画協議会の開催（オンライン） （計画素案の確定）
	3月23日	第636回教育委員会での計画素案の報告・承認 （計画案の確定）
	7月 日	文化庁への計画の認定申請
	7月 日	計画の認定・策定

資料2 自治会・中学生・企業アンケート調査の結果

本計画の作成にあたり、「自治会アンケート調査」、「学生アンケート調査」、「企業アンケート調査」の3種類のアンケート調査を実施しました。

なお、これらの調査を実施する時点においては、本計画で対象とする「歴史文化遺産」の用語の定義（2ページ参照）が定まっていなかったため、人物や功績なども含めた幅広い地域の資源を「歴史文化遺産」に含むものとして調査を実施しました。

資料2-1 自治会アンケート調査

実施概要

- 目的：町民が大切に思う福崎町の歴史文化遺産、各区の歴史文化遺産の実態や取組意向などの把握を通じて、町民等が共感・共有し、協働で歴史文化まちづくりに取り組める計画を作成するための検討資料とすることを目的としました。
- 対象：町内33区長
※区長宛で依頼した上で、他に適任者（文化財協力委員や歴史・文化に詳しい人）がいる場合の委任や、役員・区民との相談の上での回答も可としました。
- 実施方法：（配布）区長文書の訪問配布時に配布
※パソコンでの回答入力を希望される場合は調査票データの送信（回収）FAX、メール、役場へ持参のいずれか
- 実施期間：令和2年8月20日～令和2年9月23日
- 設問：1. 福崎町の歴史・文化について
 - ① 大切に思う福崎町の歴史文化遺産2. 区の歴史文化遺産について
 - ② 区を代表する歴史文化遺産とその活用意向
 - ③ 区でのこれまでの歴史文化遺産の保存・活用の取組経緯
 - ④ 区での今後の歴史文化遺産の保存・活用の取組意向と取組にあたっての課題3. 福崎町における、今後の歴史文化遺産を活かしたまちづくりについて
 - ⑤ 歴史文化遺産を活かしたまちづくりに係る各施策の重要性
 - ⑥ 福崎町や各区における歴史文化遺産を活かしたまちづくりに対する自由意見
- 回収結果：配布数 33票
回収数 33票
回収率 100%

設問①

福崎町の歴史文化遺産のうち、大切だと思うものは何ですか。
大切だと思う歴史文化遺産の名前をいくつでもご記入ください。

【回答区数：33区（100%）】

● 大切に思う福崎町の歴史文化遺産

- ・合計 451 件の回答がありました。（※歴史文化遺産数は 247 件（抽象表現の回答も 1 件とカウント））
- ・類型別では、「歴史的な建物、石造物」が 110 件と最も多く、「祭りや講など」が 83 件、「自然・風景」が 67 件、「人物やその功績」が 59 件、「遺跡」が 45 件と続きました。（図 S2-1）
- ・具体的な歴史文化遺産では、「秋祭り」が 15 件と最も多く、「七種の滝」と「柳田國男」が 13 件、「屋台」が 11 件、「大庄屋三木家住宅」が 10 件、「柳田國男生家」が 9 件、「歴史民俗資料館（旧神崎郡役所）」が 8 件と続きました。「秋祭り」と「屋台」を両方回答しているのは 6 件であることから、「秋祭り」又は「屋台」のいずれかを回答しているのは 20 件であり、全体の 61% を占めました。（表 S2-1）

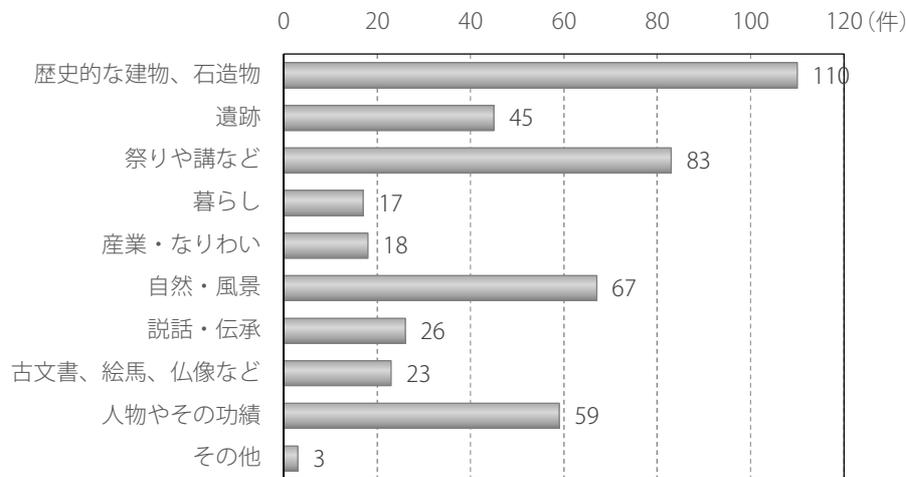


図 S2-1 大切に思う福崎町の歴史文化遺産の類型別の回答傾向

表 S2-1 大切に思う福崎町の歴史文化遺産（上位 19 件）

順位	回答数	歴史文化遺産の名称	類型
1	15	秋祭り	祭りや講など
2	13	七種の滝	自然・風景
2	13	柳田國男	人物やその功績
4	11	屋台	祭りや講など
5	10	大庄屋三木家住宅	歴史的な建物、石造物
6	9	柳田國男生家	歴史的な建物、石造物
7	8	歴史民俗資料館（旧神崎郡役所）	歴史的な建物、石造物
8	7	妙徳山古墳	遺跡
8	7	鬼追式（神積寺）	祭りや講など
10	6	大塚古墳	遺跡
10	6	七種山	自然・風景
10	6	井上通泰	人物やその功績
10	6	松岡映丘	人物やその功績
14	5	神積寺	歴史的な建物、石造物
14	5	石造鳥居（岩尾神社）	歴史的な建物、石造物
14	5	もち麦	産業・なりわい
14	5	木造薬師如来坐像（神積寺）	古文書、絵馬、仏像など
14	5	松岡鼎	人物やその功績
14	5	松岡静雄	人物やその功績

※集計にあたっては、回答趣旨が変わらない範囲で表現を修正しています。

表 S2-2 大切だと思う福崎町の歴史文化遺産（全回答一覧）

歴史的な建物・石造物	回答数
大庄屋三木家住宅	10
柳田國男生家	9
歴史民俗資料館（旧神崎郡役所）	8
神積寺	5
石造鳥居（岩尾神社）	5
金剛城寺	4
石橋（岩尾神社）	4
岩尾神社	4
岩尾神社本殿	3
石造五重塔	2
應聖寺	2
日光寺	2
余田大歳神社	1
二之宮神社	1
七種神社	1
田賀神社	1
田嶋神社	1
住吉神社	1
道分け稲荷神社	1
愛宕神社	1
一之宮神社本殿	1
一之宮神社山門（麻呂太さん）	1
安徳寺	1
観音寺	1
悟真院唐門	1
五合堂	1
上中島地藏堂	1
固寧倉	1
旧辻川郵便局	1
旧小國家住宅	1
新町三木家住宅	1
巖橋	1
石造五如来坐像	1
石造三尊像	1
おかげ灯籠	1
ピワタビ井堰記念碑	1
ポール中尉等殉職慰霊碑	1
雲津川改修記念碑	1
阿弥陀種子板碑	1
力士墓碑（坂の森墓）	1
力士墓碑（谷風碑）	1
緑り松長太夫墓	1
豊竹紙保墓	1
天真流 清授軒一遊碑	1
「妙徳山山道」の道標	1
法華山一乗寺参りの道標	1
道標（田口：右丹後成相山,左前之庄）	1
道標（余田：右吹谷?,左たま屋?）	1
鈴の森神社玉垣	1
一石一字祈願塔	1
顕彰碑・頌徳碑等の石造物	1
石棺の蓋	1
庚申塔（桜）	1
宝塔 4 基	1
巡礼道灯籠	1
巡礼道道標	1
※寺社	2
※古民家	1
※各地の道標・石仏	1
※石仏	1
※地藏	1
※五輪塔	1
※石灯籠	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

遺跡	回答数
妙徳山古墳	7
大塚古墳	6
東広畑古墳	4
銀の馬車道	3
神谷古墳	3
春日山城跡	2
西国三十三所巡礼道	2
相山古墳	2
東新田古墳	1
朝谷 1 号墳	1
奥ノ向遺跡	1
狐塚遺跡	1
南田原長目遺跡	1
桜東畑遺跡	1
現在調査中の遺跡（桜）	1
高峰山城跡	1
生野街道	1
吸谷道	1
旧陸軍弾薬庫引込線路跡地	1
駒ヶ岩の石組（湛保）	1
有舌尖頭器	1
※各地の古墳	1
※古道	2

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

祭りや講など	回答数
秋祭り	15
屋台	11
鬼追式（神積寺）	7
浄舞	4
かくしほちよじ	4
節分祭／斎灯	4
花まつり	4
夏祭り	3
おんど	2
初午	2
地藏盆	2
祇園祭	2
歳旦祭	1
法成就講	1
湯立て	1
節分大護摩（應聖寺）	1
お日待ち	1
お般若行事	1
きつね追い	1
ほっとこれん	1
井ノ口えびずさん	1
金毘羅祭り	1
四万六千	1
申祭	1
虫送り	1
百膳	1
彼岸法要（應聖寺）	1
文殊会式（神積寺）	1
報恩講・涅槃会	1
屋台の狭間	1
鬼追いの面	1
浄舞の天狗面	1
花御堂	1
※寺社の祭りや行事	1
※祭具一式	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

暮らし	回答数
お盆	2
正月	2
サバの押鮓／播州のさば寿司	2
正月のお節料理	1
初詣	1
暮の餅つき	1
雑煮	1
おでん	1
七夕祭り	1
長寿の祝い	1
天道華（八日花）	1
彼岸・お盆の墓参り	1
方言	1
民具類	1

産業・なりわい	回答数
もち麦	5
もち麦麵／もち麦関連商品	3
もち麦の栽培	1
西光寺野開拓疏水トンネル	1
西光寺野疎水路	1
ピワクビ井堰	1
ツノナス	1
米	1
麦	1
家畜	1
林業	1
農耕用の各種道具類	1

自然・風景	回答数
七種の滝	13
七種山	6
應聖寺庭園	3
日光寺山	3
神前山	3
市川	2
長池	2
高倉山	1
三獅子山	1
住吉山	1
春日山	1
大倉山	1
七種檜	1
つなぎ岩	1
笠岩	1
七種川	1
大内川	1
矢口川	1
田口奥池	1
東光寺池	1
矢口奥池	1
矢口口池	1
矢口中池	1
市川東側のため池群	1
熊野神社の森	1
與位神社の森	1
神積寺の森	1
郷社の鎮守の森	1
田嶋神社の大木	1
沙羅樹（應聖寺）	1
七種橋大イチョウ	1
ヤマモモ（鈴ノ森神社）	1
ヤマモモの古木	1
青少年野外活動センター	1
里山公園なぐさの森	1
※山	1
※川	1
※ため池	1
※鎮守の森	1
※イチョウ	1
※ヤマモモ	1
※全域の自然環境	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

説話・伝承	回答数
播磨国風土記	4
河童伝説	3
駒ヶ岩	2
桶川の井戸	1
弘法大師ゆかりの井戸	1
七種の地名由来	1
千束の地名由来	2
大門の地名由来	1
神前山の地名由来	1
神崎郡誌	1
神崎十勝図鑑	1
神積寺と岩尾神社の開削	1
姫ヶ池	1
湯風呂谷	1
春日山城下にまつわる屋号	1
※妖怪キャラクター	1
※小字地名の由来	1
※字名	1
※地名の由来	1
※地域の言い伝え	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

古文書・絵馬、仏像など	回答数
木造薬師如来坐像（神積寺）	5
文殊菩薩（神積寺）	2
銅像誕生釈迦仏立像（應聖寺）	1
薬師如来坐像（有井堂）	1
薬師如来坐像（桜薬師庵）	1
毘沙門天	1
仏光寺（廃寺）の仏像	1
古文書（加治谷・大門共同保管）	1
常盤御前絵馬（鈴ノ森神社）	1
日吉神社絵馬（朝鮮出兵等）	1
余田大蔵神社絵馬（三拾六歌仙）	1
※古文書	4
※神社の絵馬	1
※絵馬	1
※仏像	1
※地域に残る古文書・絵馬・仏像すべて	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

人物やその功績	回答数
柳田國男	13
井上通泰	6
松岡映丘	6
松岡鼎	5
松岡静雄	5
吉識雅夫	4
藤本煙津	4
松岡義之	3
小國鐵十郎	1
岸上大作	1
佐治實然	1
玉木十郎兵衛門	1
三木承太郎	1
松岡家	1
松岡源之助	1
松岡操	1
松田利吉	1
倉本雄三	1
大杉兵太郎	1
堀米令次	1
大杉善吉	1

設問②	あなたの区を代表すると思う歴史文化遺産（最大3つまで）をお教えてください。 また、それらのまちづくりへの活用のあり方・意向について、あてはまる番号すべてに○をつけてください
-----	---

【回答区数：30区（91%）、「特になし」又は無回答：3区（9%）】

● 区を代表すると思う歴史文化遺産

- ・30区から合計65件の歴史文化遺産があげられました。
- ・類型別では、「歴史的な建物、石造物」が28件と最も多く、「祭りや講など」が15件、「遺跡」が10件と続きました。「暮らし」及び「産業・なりわい」の回答は見られませんでした。（図 S2-2）

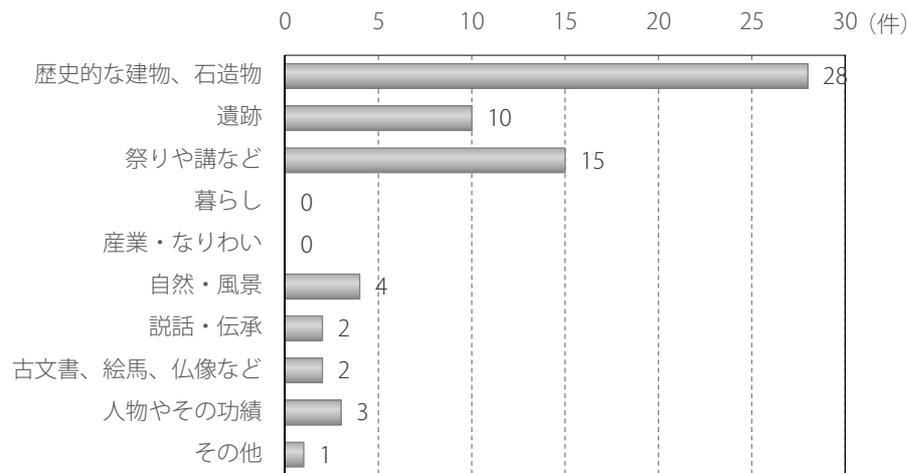


図 S2-2 区を代表すると思う歴史文化遺産の類型別の回答傾向

● 区を代表すると思う歴史文化遺産のまちづくりへの活用の意向

- ・活用意向の回答傾向としては、「区や地区の魅力や活力、生活環境の向上に活かしたい」が30件（46%）と最も多く、「地域外の人にも公開・情報発信して、観光に活かしたい」が27件（42%）、「学校教育や生涯学習に活かしたい」が24件（37%）と続いています。なお、「活用は考えられない」は4件（6%）、「わからない」は6件（9%）でした。（図 S2-3）
- ・「その他」の意見としては、「区民の区に対する意識の向上」、「3世代の交流」、「区内のコミュニケーション」、「歴史的意義の継承」といった「区や地区の魅力や活力、生活環境の向上」に関連する内容が多くあげられました。また、なかには「遊歩道等の整備」や「区民の交流拠点としての活用」などの具体的な活用内容の提案も見られました。
- ・歴史文化遺産の類型別の活用意向は、母数が少なく統計的な比較は困難ですが、類型別の大きな違いは見られませんでした。（表 S2-3）

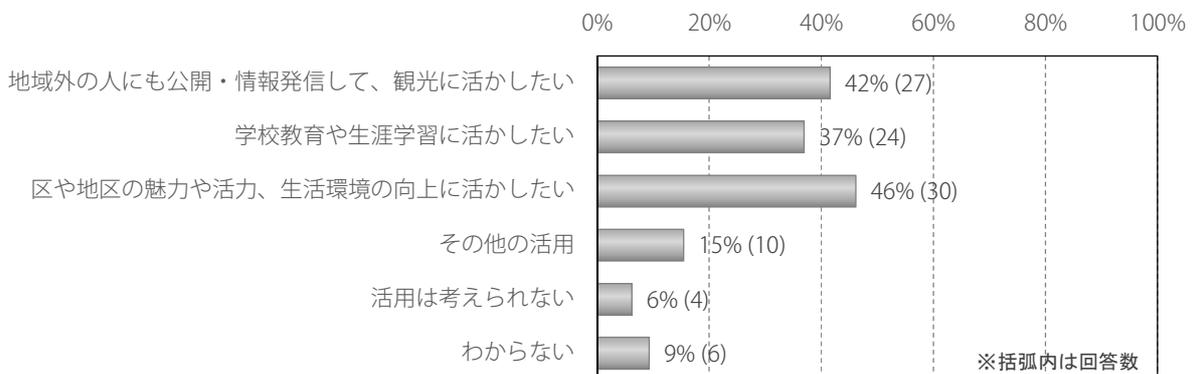


図 S2-3 区を代表すると思う歴史文化遺産の活用意向の回答傾向

表 S2-3 区を代表すると思う歴史文化遺産の類型別の活用意向

類型	母数	地域外の人にも公開・情報発信して、観光に活かしたい	学校教育や生涯学習に活かしたい	区や地区の魅力や活力、生活環境の向上に活かしたい	その他の活用	活用は考えられない	わからない
歴史的な建物、石造物	28	12 (43%)	11 (39%)	13 (46%)	3 (11%)	3 (11%)	2 (7%)
遺跡	10	5 (50%)	4 (40%)	6 (60%)	2 (20%)	0 (0%)	0 (0%)
祭りや講など	15	4 (27%)	3 (20%)	6 (40%)	3 (20%)	0 (0%)	4 (27%)
暮らし	0						
産業・なりわい	0						
自然・風景	4	2 (50%)	3 (75%)	1 (25%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)
説話・伝承	2	1 (50%)	1 (50%)	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)
古文書、絵馬、仏像など	2	1 (50%)	0 (0%)	1 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
人物やその功績	3	1 (33%)	3 (100%)	2 (67%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
その他	1	1 (100%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)

設問③	あなたの区の歴史文化遺産のうち、これまで（現在を含む）保存や活用に取り組んできたものがあれば、その名前、取組の内容、取組の主体（保存会や連携して取り組んでいる区・団体・大学などを含む）をお教えてください。
-----	--

【回答区数：21区（64%）、「特になし」又は無回答：12区（36%）】

● これまで保存や活用に取り組んできた歴史文化遺産

- ・21区から合計36件の歴史文化遺産があげられました。
- ・類型別では、「祭りや講など」が13件と最も多く、「歴史的な建物、石造物」が12件、「遺跡」・「自然・風景」・「古文書、絵馬、仏像など」が3件、「その他」が2件でした。（図S2-4）
- ・寺社に関連する歴史文化遺産（寺社建築や祭り・屋台、仏像、境内樹木など）が大半を占めました。

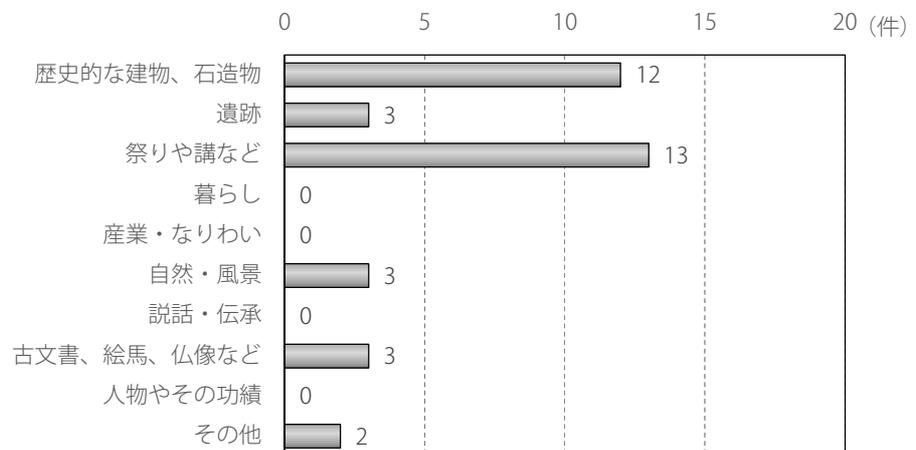


図 S2-4 これまで保存や活用に取り組んできた歴史文化遺産

● これまでの保存や活用の取組内容

- ・「これまで保存や活用に取り組んできた歴史文化遺産」36 件のうち、無回答の 3 件を除く 33 件から、合計 40 件の取組内容があげられました。
- ・取組内容を類型化して整理すると、「Ⅰ. 保存措置・修理等」が 19 件（58%）と最も多く、「Ⅱ. 日常管理」が 14 件（42%）と続きました。（図 S2-5）
- ・歴史文化遺産の類型別では、「歴史的な建物、石造物」は、「Ⅰ. 保存措置・修理等」が 10 件（83%：類型内での割合。以下、本項目について同様。）、「Ⅱ. 日常管理」が 7 件（58%）でした。前者は、社殿・堂等の修理、後者は境内の清掃が多くあげられました。
「祭りや講など」も、「保存措置・修理等」が 8 件（67%）と多く、その内容は、屋台の新調や修理が多く、継承のための祭り・行事の内容変更も 1 件あげられました。また、同類型では「人材育成」も 2 件（17%）の回答がありました。

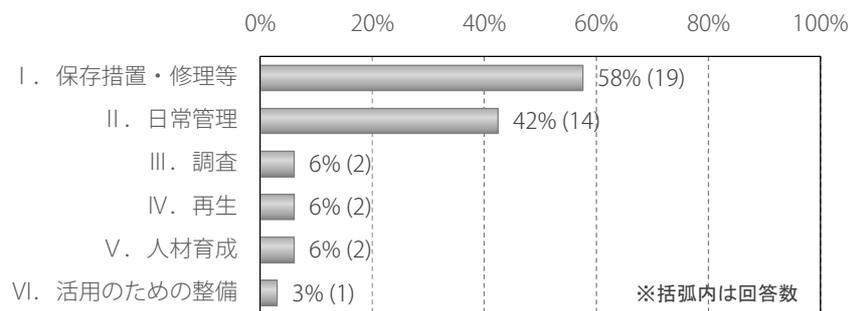


図 S2-5 これまでの保存や活用の取組内容

● これまでの保存や活用の取組主体

- ・「これまで保存や活用に取り組んできた歴史文化遺産」36 件のうち、無回答の 2 件を除く 34 件から、合計 60 件の取組主体があげられました。
- ・取組主体を類型化して整理すると、「A. 区・区役員」が 22 件（67%）と最も多く、青年団や消防団、子ども会、老人会などの「B. 各種団体」が 14 件（42%）、「C. 保存会」が 8 件（24%）と続きました。「F. その他」としては、ボランティアグループや P T A、区の文化財協力員などがあげられました。（図 S2-6）
- ・修理の際の浄財や積立金などのように、寺社に関連する取組には当該寺社に加えて区全体での関わりが見られ、このうち秋祭り・屋台は、保存会、青年団・消防団などの各種団体の積極的な関わりが見られました。

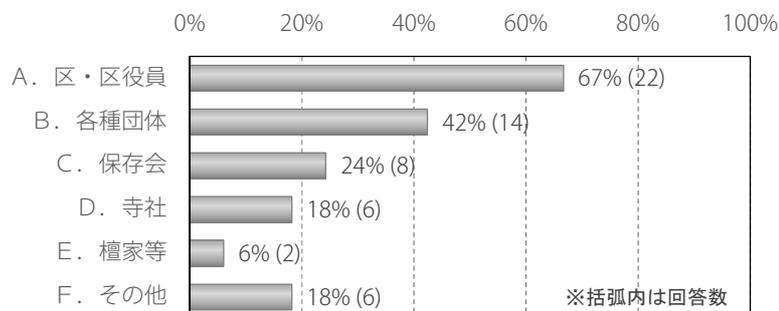


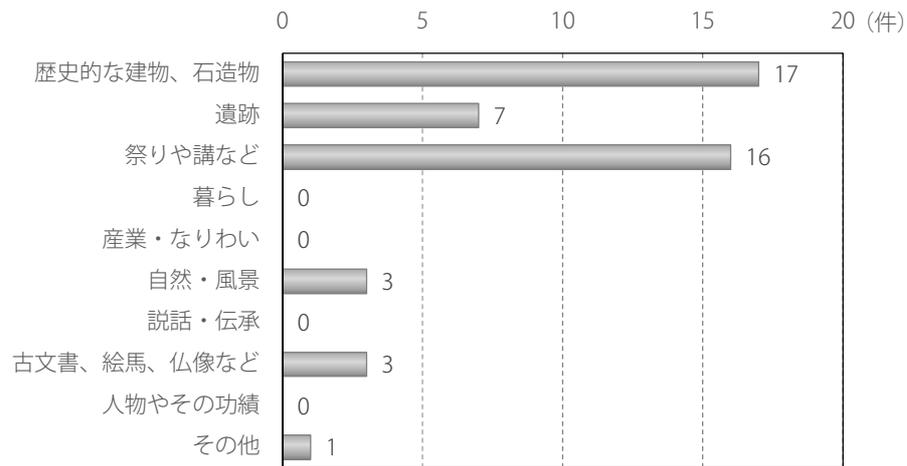
図 S2-6 これまでの保存や活用の取組の取組主体

設問④	あなたの区において、今後、重点的に保存（次の世代への継承）や活用に取り組みたい歴史文化遺産（最大3つまで）と、取り組みたい内容とその理由をお教えてください。また、その取組にあたって、課題となると思われることについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
-----	---

【回答区数：26区（79%）、「特になし」又は無回答：7区（21%）】

● 今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史文化遺産

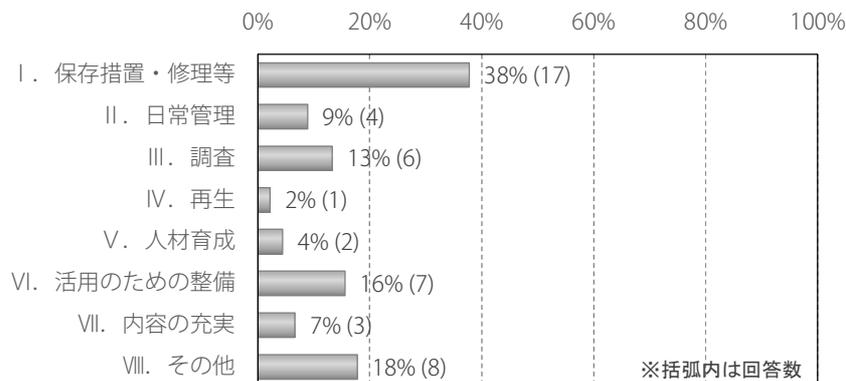
- ・21区から合計47件の歴史文化遺産があげられました。
- ・歴史文化遺産の類型別では、「歴史的な建物、石造物」が17件、「祭りや講など」が16件と多く、「遺跡」が7件、「自然・風景」と「古文書、絵画、仏像など」が3件、「その他」が1件でした。（図S2-7）



図S2-7 今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史文化遺産

● 今後、取り組みたい内容と理由

- ・「今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史文化遺産」47件のうち、無回答の2件を除く45件から、合計48件の取組内容があげられました。
- ・取組意向の内容を類型化して整理すると、「Ⅰ. 保存措置・修理等」が17件（38%）と最も多く、「Ⅱ. 活用のための整備」が7件（16%）、「Ⅲ. 調査」が6件（13%）と続きました。（図S2-8）
- ・歴史文化遺産の類型別では、「歴史的な建物、石造物」は、「Ⅰ. 保存措置・修理等」が11件（65%：類型内での割合。以下、本項目について同様。）と最も多く、「Ⅲ. 調査」が3件（18%）と続きました。「祭りや講など」は、「その他」が7件（47%）と最も多いが、その内容は、現在の取組内容の継続が大半で、案内の強化や時間帯の検討が1件でした。「保存措置・修理等」と「内容の充実」が3件（20%）と続き、前者は屋台等の祭具の修理・新調等があげられ、後者は区外からの参加者の呼び込み、他地域への情報発信や他の歴史文化遺産との連携があげられました。「遺跡」では、「Ⅵ. 活用のための整備」が4件（50%）と最も多くあげられましたが、これらは遺跡自体の整備ではなく、散策するための遊歩道や周辺環境の整備を中心とした回答でした。
- ・取り組みたい理由については、老朽化や破損の状況、歴史文化遺産の価値などの記載が中心でした。



図S2-8 今後、取り組みたい内容

● 今後の取組にあたっての課題

- ・「今後、重点的に保存や活用に取り組みたい歴史文化遺産」で取組内容の回答があった歴史文化遺産 46 件のうち、「特になし」1 件を除く 45 件について課題の回答が得られました。回答された課題の総数は 130 でした。
- ・全体的な回答傾向は、「B. 資金面の負担」が 32 件（71%）と最も多く、「E. 具体的な取組方法などが決まっていない」が 27 件（60%）と続きました。（図 S2-9）
- ・「F. その他」は、「歴史的な建築物、石造物」の「I. 保存措置・修理等」で「神社であるため、自治会の資金を使えない」、「遺跡」の「VIII. その他」（消滅した遺跡の伝承）で「古老の聞き取り証言だけで具体的な資料が区に残っていない」、「祭りや講など」の「IV. 再生」で「時代の移り変わりで現在の人には理解が難しい」という回答でした。
- ・歴史文化遺産の類型別では、「歴史的な建物、石造物」では「B. 資金面の負担」が 14 件（78%）と多いのに対し、「祭りや講など」の保存・活用の取組にあたって、「C. 価値が共有できていない」が 11 件（69%）、「人手・人材不足」が 9 件（56%）と多くなっていました。（表 S2-4）
- ・取組意向の内容別では、「B. 資金面の負担」が「I. 保存措置・修理等」で 16 件（94%）、「VI. 活用のための整備」で 6 件（86%）と多くなっていました。（表 S2-5）

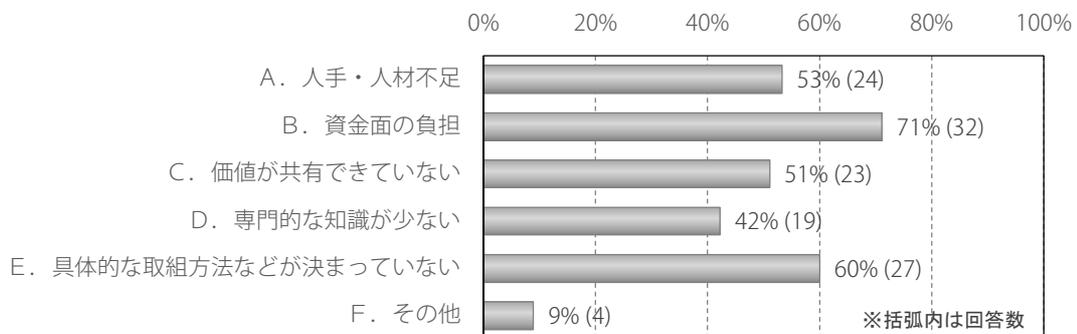


図 S2-9 今後の取組にあたっての課題の回答傾向

表 S2-4 今後の取組にあたっての課題（歴史文化遺産の類型別）

類型	母数	取組にあたっての課題					
		A. 人手・人材不足	B. 資金面の負担	C. 価値が共有できていない	D. 専門的な知識が少ない	E. 具体的な取組方法などが決まっていない	F. その他
歴史的な建物、石造物	18	4 (22%)	14 (78%)	6 (33%)	8 (44%)	11 (61%)	2 (11%)
遺跡	8	7 (88%)	6 (75%)	3 (38%)	4 (50%)	6 (75%)	1 (13%)
祭りや講など	16	9 (56%)	6 (38%)	11 (69%)	2 (13%)	6 (38%)	1 (6%)
自然・風景	4	2 (50%)	4 (100%)	2 (50%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)
古文書、絵馬、仏像など	3	2 (67%)	2 (67%)	1 (33%)	2 (67%)	1 (33%)	0 (0%)
その他	1	1 (100%)	0 (0%)	1 (100%)	1 (100%)	1 (100%)	0 (0%)

表 S2-5 今後の取組にあたっての課題（取組意向の内容別）

類型	母数	取組にあたっての課題					
		A. 人手・人材 不足	B. 資金面の負 担	C. 価値が共有 できていな い	D. 専門的な知 識が少ない	E. 具体的な取 組方法など が決まってい ない	F. その他
I. 保存措置・修理等	17	6 (35%)	16 (94%)	9 (53%)	8 (47%)	10 (59%)	2 (12%)
II. 日常管理	4	2 (50%)	3 (75%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (25%)	0 (0%)
III. 調査	6	3 (50%)	4 (67%)	2 (33%)	4 (67%)	5 (83%)	0 (0%)
IV. 再生	1	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	1 (100%)
V. 人材育成	2	2 (100%)	0 (0%)	1 (50%)	2 (100%)	1 (50%)	0 (0%)
VI. 活用のための整備	7	6 (86%)	6 (86%)	2 (29%)	4 (57%)	5 (71%)	0 (0%)
VII. 内容の充実	3	2 (67%)	1 (33%)	1 (33%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
VIII. その他	8	3 (38%)	2 (25%)	7 (88%)	1 (13%)	5 (63%)	1 (13%)

表 S2-6 今後の取組にあたっての課題（歴史文化遺産の類型及び取組意向の内容別の総括表）

類型	回答数	取組意向の内容 回答数	取組にあたっての課題						
			A. 人手・人 材不足	B. 資金面の 負担	C. 価値が共 有できて いない	D. 専門的な 知識が少 ない	E. 具体的な 取組方法 などが決 まってい ない	F. その他	
歴史的な 建物、石造物	17	I. 保存措置・修理等	11	2	10	5	5	6	2
		II. 日常管理	2*	0	1	0	0	1	0
		III. 調査	3	1	2	1	2	3	0
		VI. 活用のための整備	1	1	1	0	1	1	0
遺跡	7	I. 保存措置・修理等	1	1	1	0	0	1	0
		II. 日常管理	1	1	1	0	0	0	0
		III. 調査	1	1	1	1	1	1	0
		VI. 活用のための整備	4	4	3	1	2	3	0
祭りや講など	16	VIII. その他	1	0	0	1	1	1	1
		I. 保存措置・修理等	3	2	3	2	1	2	0
		IV. 再生	1	0	0	1	0	0	1
		V. 人材育成	1	1	0	0	1	0	0
自然・風景	4	VII. 内容の充実	3	2	1	1	0	0	0
		I. 保存措置・修理等	1	0	1	1	1	1	0
		VI. 活用のための整備	2	1	2	1	1	1	0
古文書、絵馬、 仏像など	3	I. 保存措置・修理等	1	1	1	1	1	0	0
		III. 調査	2	1	1	0	1	1	0
その他	1	V. 人材育成	1	1	0	1	1	1	0
計	47	計	46	24	32	23	19	27	4

※2件のうち1件が課題は「特になし」と回答。

設問⑤	今後、歴史文化遺産を活かしたまちづくりを進める際、福崎町による次の各施策の項目はどのくらい重要だと思いますか。 施策の項目ごとにあてはまる項目を1つずつ選んで、○をつけてください。
-----	---

【回答区数：32区（97%）】

● 今後の福崎町による施策の重要度

いずれの施策の項目についても、「重要である」・「やや重要である」の回答が多く見られ(全項目平均 87%)、「重要でない」という回答は見られませんでした。
なかでも「ア. 歴史文化遺産の把握や価値評価などの調査・研究」と「オ. これまで保存措置が講じられていない歴史文化遺産の保存制度・事業」が、いずれも平均 1.53*となっており、「重要である」の回答数も 17 区（53%）と最も高くなっていました。

一方、「ク. 区・企業・大学を含めた、さまざまな主体が連携するための仕組みづくり」は平均 1.88*、「エ. 専門家の派遣や相談窓口の設置、活動助成などの区や地区の取組の支援」は平均 1.84*であり、他に比べて重要度が低い傾向が見られました。エについては、「重要である」・「やや重要である」の回答の合計数が 24（77%）と他の施策項目に比べて低くなっていました。（図 S2-10、図 S2-11）

*「重要である」を 1、「やや重要である」を 2、「どちらでもない」を 3、「あまり重要でない」を 4、「重要でない」を 5 として算出した平均値。

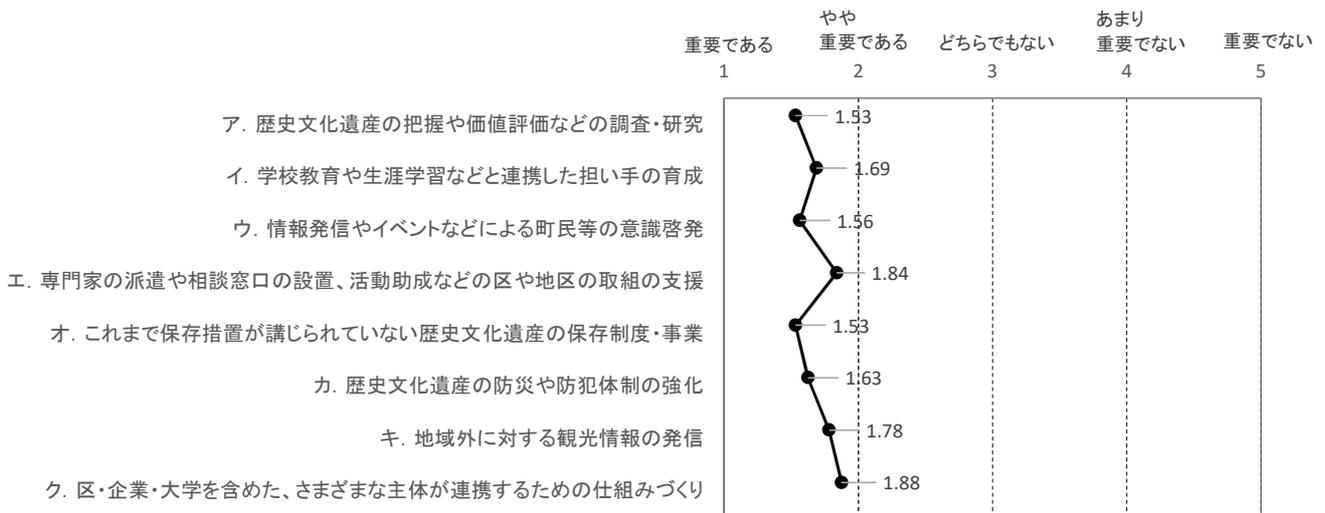


図 S2-10 今後の施策の重要度の回答傾向

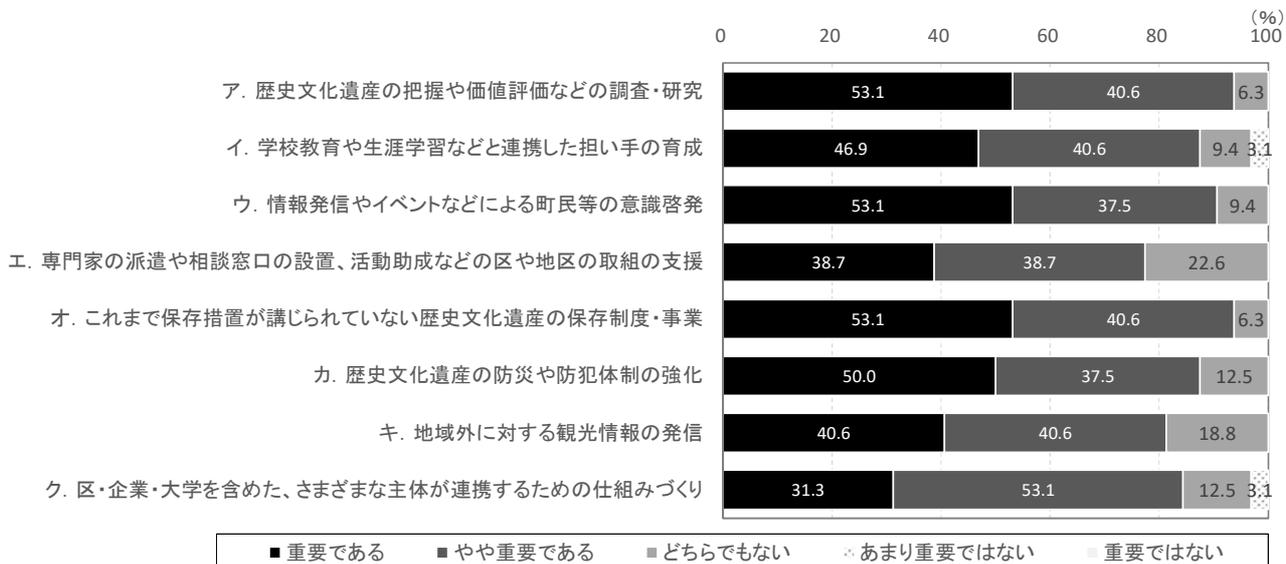


図 S2-11 今後の施策の重要度（各施策の項目に対する回答状況）

設問⑥	福崎町や各区における歴史文化遺産を活かしたまちづくりについて、ご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。
-----	--

【回答区数：15区（45%）、「特になし」又は無回答：18区（55%）】

● 福崎町や各区における歴史文化遺産を活かしたまちづくりに対する意見

- ・「要望・提案」についての意見と「課題」についての意見に大きく分けられ、「要望・提案」は、「体制」「資金」「調査」「人材育成」「活用」「その他」に細分できました。意見の概要は表 S2-7 の通りです。

表 S2-7 福崎町や各区における歴史文化遺産を活かしたまちづくりに対する意見概要一覧

要望 提案	体制	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会が所持している各地区に関係した資料を閲覧しやすいようにして欲しい。自分の地区に関する資料を調べたくても、教育委員会がどんな資料をどのくらい所持しているか分からないし、どのような手続きを踏めば良いか分からない。資料は活用してこそ意義があると思うので、自分の地区に関係する資料はもっと自由に閲覧できるようにして欲しい。 ・町が専門家との連絡の窓口になって調査等を推進して欲しい。
	資金	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的な建物等を維持するためには、多額の費用が必要となるが、費用の負担について区民の理解が得られない。さらに少子高齢化や過疎化が進めば、費用の捻出が困難となる。歴史文化遺産を守るために、公的支援の大幅な拡充が必要と考えている。文化財を用いて町が事業を考えるのであれば、文化財の維持も地元任せではなく補助を増やすべきであり、現在の補助は少なすぎる。地元負担が1～2割くらいでないと修理できない。今後、若い世代の人たちが、自分でお金を出して文化財を守っていかうとは思えないと思うため、20年後、30年後を見据えて、今修理できる補助が必要である。 ・文化財の維持管理の地元負担の軽減が望まれる。 ・区民による草刈りや農業従事者による農地周辺の草刈りも、自然・風景という歴史文化遺産の保全作業と捉えて、補助金等の資金面からバックアップをして欲しい。 ・自律（立）のまちづくり事業を継続して欲しい。
	調査	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化遺産を生かしたまちづくりには、できるだけ多くの人に関わることが大切である。歴史文化遺産が嫌いな人はいないが、あまり興味を示すほどでもなく、難解なイメージがあり、好きな人がやれば良いと考えている人が多いと思う。そのため、自分の地区にどのような歴史文化遺産があるかを知っている人が少ない。まずは地区にどのような歴史文化遺産がどこにあるかを調べて、住民に知ってもらうことが大切である。日常に密着した昔からの冠婚葬祭や各種行事、民間伝承等も地区の老若男女で調べて書き残し、時代の変遷による違いを記録として残すことも大切である。昔の里道、小字の成り立ちを調べることも面白いと思う。この時、できるだけ多くの住民に参加してもらうことが大切で、このような地道な活動を継続して行うことが地区の歴史文化遺産を増やす結果になると思う。 ・滋岡川人のことを調べて紹介してみようか。 ・各家庭に残る歴史文化遺産の調査をしてはどうか。
	人材 育成	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生への情報発信とプログラム活動などを通じて、秋祭り以外でも郷土愛を育むことが大切。 ・町内の文化財や遺跡を学校の勉強の一環として取り入れ、知る機会を増やして欲しい。
	活用	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財の説明板を設置して、由緒や歴史などを紹介して欲しい。 ・外部へのPR活動が大切。 ・もちむぎ麺料理コンテストなど、福崎町独自のお土産を公募し、もちむぎ麺に並ぶ特産品を開発して欲しい。 ・スタンプラリーなどのイベントを開催しながら観光客の増員を図ることが大切。 ・辻川山公園やさきちゃんプラザ周辺の利活用強化が必要。そのために、住民参画の仕掛けづくりや拠点づくりと、ボランティアではなくお金が稼げる仕組みづくりが必要。 ・西光寺野台地に点在する法華山一乗寺参りの道標を銀の馬車道、西光寺野ため池群や西光寺野用水等とリンクさせ、歴史を後世へ正しく伝える取組をして欲しい。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・未整備の道路（雲津川沿いの未整備区間など）が景観や生活動線を損ねている。植栽帯などにより、景観に配慮した町道整備をして欲しい。 ・住民が、生活しやすい、生きやすいまちづくりにもっと力を入れるべき。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・政教分離の観点から、神社等には自治会のお金を投入しにくいのが、維持管理には多額の費用が必要となるのが課題である。 ・さまざまな地区の行事があるが、区民の高齢化に伴う担い手不足が深刻であり、次世代への伝承が喫緊の課題である。 ・事業するにあたり、少子高齢化で人材が少ないことが課題である。 ・昔はお盆の時期になると各地区で盆踊りが盛んに行われていた。太鼓を打ち鳴らしながら、唄い手と踊り手が一緒に踊った音頭（播州音頭等）を最近聞くことがなくなり残念である。なんとか残すことができないかと思う。 ・かつて松茸がたくさん採れたが、現在は全く採れなくなった。松山を再生させて松茸のブランド化を目指したいが、人手や資金、区民合意、専門知識不足など課題が多い。 	

資料 2-2 中学生アンケート調査

実施概要

- 目的：若年層が捉える福崎町の歴史文化の特徴や、意識啓発に効果的な取組を把握し、次世代の担い手育成に向けた施策を検討するための資料とすることを目的としました。
- 対象：町内の中学2年生（全員） 164名
 - 福崎東中学校 99名
 - 福崎西中学校 65名
- 実施方法：町内の2中学校（福崎東中学校、福崎西中学校）に依頼して実施
- 実施期間：令和2年9月
- 設問：① 福崎町の主要な歴史文化遺産の認知状況
② 一番印象に残っている歴史文化に関わる体験・経験など
③ 取組（学び、体験、紹介）に対する意向
④ 福崎町のまちづくりにおける歴史文化の重要性
- 回収結果：配布数 163票（1名欠席のため）
 - 回収数 163票
 - ・福崎東中学校 99票
 - ・福崎西中学校 64票
 - 回収率 100%

設問① 福崎町の歴史や文化、文化財について、あなたはどのくらい知っていますか。項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで、○をつけてください。

【回答者数：163名（100%）※ただし「カ」は160名、「キ」は161名、「ク」は162名】

● 福崎町の主要な歴史文化遺産の認知状況

・認知状況の全体傾向は、「キ. 秋祭り・屋台」が最も認知度が高く、平均 1.19*となっており、「よく知っている」の回答数も 68 件（42%）と最も高くなっていました。「ア. 柳田國男と民俗学」が平均 1.56*、「ウ. 銀の馬車道」が平均 1.80*、「ケ. 七種山」が平均 1.84*と続いています。なお、最も認知度が低いのは「カ. 固寧倉」であり平均 2.94*でした。

※「よく知っている」を1、「大体知っている」を2、「少し知っている」を3、「聞いたことがある」を4、「全く知らない」を5として算出した平均値。

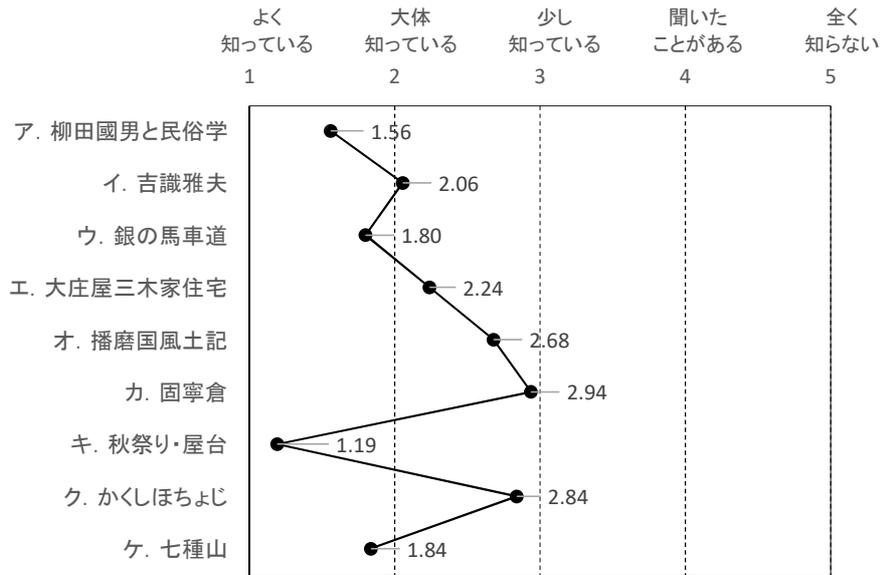


図 S2-12 福崎町の主要な歴史文化遺産の認知状況の回答傾向

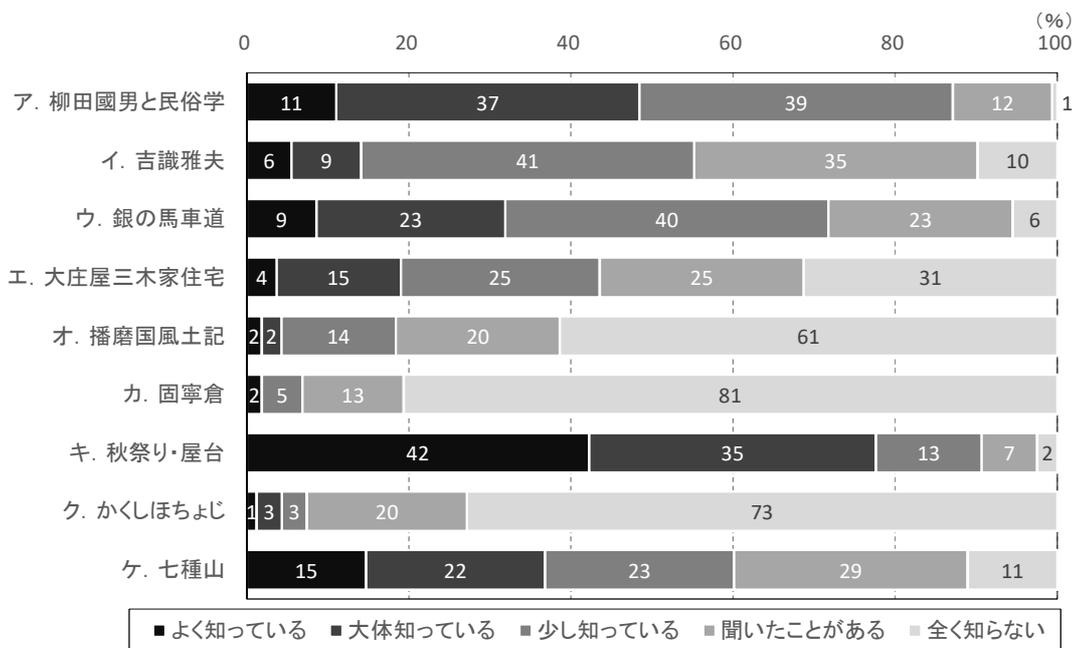


図 S2-13 福崎町の主要な歴史文化遺産の認知状況（各歴史文化遺産に対する回答状況）

設問②	あなたがこれまで参加・経験・体験したことがある「地域のお祭りや行事、歴史や文化に関連するイベントや学校の授業・見学・体験など」のなかで、一番印象に残っているもの（1つ）とその理由を教えてください。
-----	--

【回答者数：158名（97%）、無回答5名】

● 一番印象に残っている歴史文化に関わる体験・経験等

- ・「秋祭り・屋台」が112件と突出して多く、全体の71%を占めました。
- ・「祭り・行事」、「イベント」、「体験学習・見学」の類型では、「祭り・行事」が136件（86%）、「イベント」が5件（3%）、「体験学習・見学」が16件（10%）でした。

表 S2-8 一番印象に残っている歴史文化に関わる体験・経験等

歴史文化に関わる体験・経験等		回答数	類型 該当数	割合
類型	回答内容			
祭り・行事	秋祭り・屋台	112	136	86%
	夏祭り	9		
	稲荷祭り	3		
	とんど	1		
	かくしほちよじ	1		
	お盆	1		
	盆踊り	1		
	虫送り	1		
	祭り（どの祭りかは特定せず）	7		
イベント	民俗学の俗べ	2	5	3%
	歩こう大会	2		
	八千種地区全部の屋台が八千種小に集まったもの	1		
体験学習・見学	ふくさき歴史体験隊	6	16	10%
	ふるさと学習	2		
	もち麦麵づくり	2		
	資料館で開かれた戦争に関するものの展示	1		
	学校で三木家に入って遠野の話や柳田國男の話を聞いたこと	1		
	固寧倉の見学	1		
	辻川公園の河童の見学	1		
	七種の滝の見学	1		
生野銀山に行ったこと	1			
特になし			1	1%

● 印象に残っている理由

- ・「一番印象に残っている歴史文化に関わる体験・経験等」の内容の回答があった157件のうち、155件から「印象に残っている理由」の回答がありました（無回答2件）。
- ・「印象に残っている理由」として、「印象」（楽しい、迫力がある、きれい等の印象のみ）を回答したのが77件（50%）と約半数であり、「体験」（乗り子、料理づくり、埴輪づくり等やその体験に基づいた印象）を回答したのが52件（34%）、「状況」（友達と一緒に、みんなと会える、花火が見れる等やその状況に基づいた印象）を回答したのが24件（21%）でした。「その他」は2件で、「興味があるから」、「毎年楽しみだから」という回答でした。
- ・「体験」では、29件が「乗り子」の体験と最も多く、それにより達成感や地域への貢献感、地域の一員となっていることを感じたからという回答も見られました。
- ・「印象」では、「楽しい」が43件と最も多く、「迫力がある」が18件（うち1件は「楽しい」と重複）と続きました。また、この他は「いつもと違う様子」、「きれい」、「かっこいい」、「一体感」、「面白い」などの回答でした。
- ・「状況」では、「友達と一緒に」「みんなと一緒に」「みんなと会える（話せる）」が19件と大半を占めました。

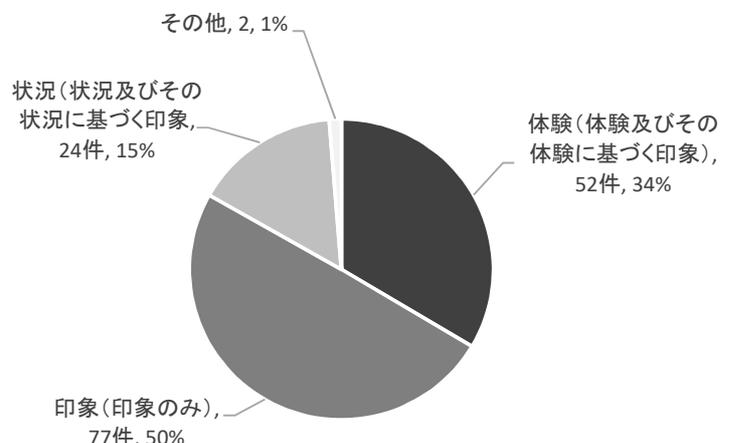


図 S2-14 印象に残っている理由の回答傾向

設問③	あなたは、福崎町の歴史や文化に関する次の内容について、どのくらい取り組んでみたいと思いますか。 項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで、○をつけてください。
-----	--

【回答者数：「ア」は161名（99%）、「イ」は160名（98%）、「ウ」は159名（98%）】

● 今後の取組（学び、体験、紹介）に対する意向

- 全体的に「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した人の割合が高くなりました。
- 「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した人の割合は、「イ. 福崎町の歴史や文化に関するいろいろな体験をしてみたい」が76名（48%）、「ア. 福崎町の歴史や文化をもっとくわしく学びたい」が75名（47%）と半数弱を占めました。一方、「ウ. 福崎町の歴史や文化をたくさんの人に紹介したい」は52名（33%）と他の項目よりも少なくなっていました。

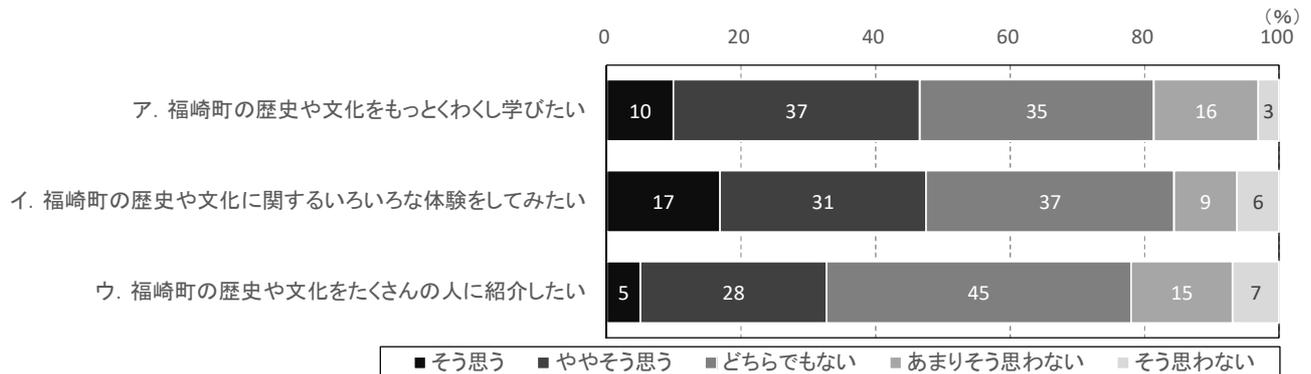


図 S2-15 取組（学び、体験、紹介）に対する意向の回答状況

設問④	あなたは、福崎町の歴史や文化は、今後の福崎町のまちづくりにとって、どのくらい大切だと思いますか。 あてはまる番号1つに○をつけてください。
-----	--

【回答者数：160名（98%）】

● 福崎町のまちづくりにおける歴史文化の重要性

- 「とても大切」又は「やや大切」と回答した人が、合計140名（88%）と多く、「大切でない」という回答は見られませんでした。（図 S2-16）



図 S2-16 福崎町のまちづくりにおける歴史文化の重要性の回答状況

資料 2-3 企業アンケート調査

実施概要

- 目的：企業が捉える福崎町の歴史・文化の特徴、企業のこれまでの歴史・文化への関わりや今後の関わり意向を把握し、歴史文化遺産の保存・活用の方針・方策を検討するための資料とすることを目的としました。
- 対象：町内の企業 574事業所
 - ・福崎町工業団地 34事業所
 - ・福崎町商工会会員 540事業所
- 実施方法：福崎町工業団地は、福崎町工業団地協議会に依頼して配布
福崎町商工会会員は、福崎町商工会に依頼して配布
FAX、メール、役場へ持参のいずれかにより回収
- 実施期間：令和2年8月12日～令和2年9月23日
- 設問：I. 福崎町の歴史・文化について
 - ① 企業が大切に思う福崎町の歴史文化遺産II. 歴史文化遺産との関わりについて
 - ② これまでの歴史文化遺産との関わり
 - ③ 今後の歴史文化遺産との関わり意向
 - ④ 福崎町における歴史文化遺産を活かしたまちづくり等に対する自由意見
- 回収結果：配布数 574票
回収数 30票
回収率 5%

設問①

福崎町の歴史文化遺産のうち、大切だと思うものは何ですか。
大切だと思う歴史文化遺産の名前をいくつでもご記入ください。

【回答事業所数：26 事業所（87%）、全項目「特になし」又は無回答：4 事業所（13%）】

● 大切だと思う福崎町の歴史文化遺産

- ・合計 227 件の回答がありました。（※歴史文化遺産数は 88 件（抽象表現の回答も 1 件とカウント））
- ・類型別では、「歴史的な建物、石造物」が 59 件と最も多く、「人物やその功績」が 43 件、「自然・風景」が 33 件、「祭りや講など」が 31 件と続きました。（図 S2-17）
- ・具体的な歴史文化遺産では、「柳田國男」が 21 件と最も多く、「七種の滝」が 18 件、「柳田國男生家」が 15 件、「大庄屋三木家住宅」が 14 件、「秋祭り」と「もち麦／もち麦麺」が 11 件、「河童伝説」が 10 件と続きました。（表 S2-9）

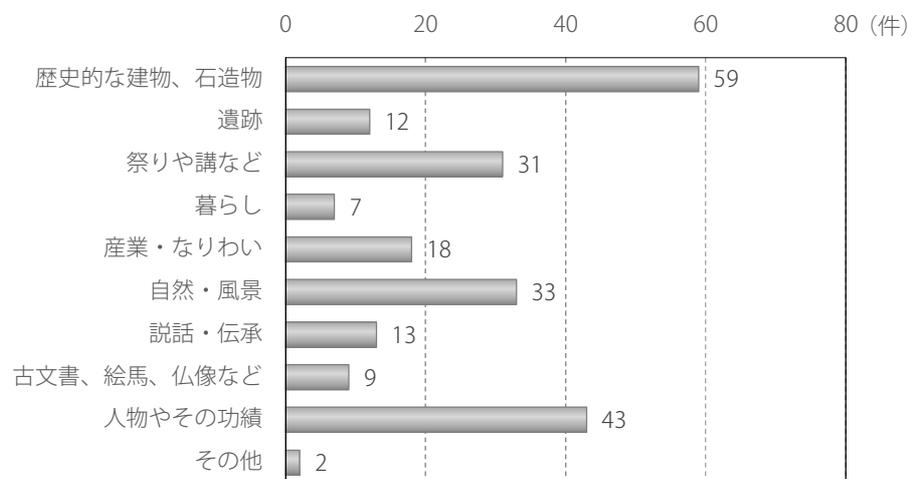


図 S2-17 大切だと思う福崎町の歴史文化遺産の類型別の回答傾向

表 S2-9 大切だと思う福崎町の歴史文化遺産（上位 20 件）

順位	回答数	歴史文化遺産の名称	類型
1	21	柳田國男	人物やその功績
2	18	七種の滝	自然・風景
3	15	柳田國男生家	歴史的な建物・石造物
4	14	大庄屋三木家住宅	歴史的な建物・石造物
5	11	秋祭り	祭りや講など
5	11	もち麦／もち麦栽培	産業・なりわい
7	10	河童伝説	説話・伝承
8	7	木造薬師如来坐像（神積寺）	古文書、絵馬、仏像など
9	5	松岡静雄	人物やその功績
10	4	歴史民俗資料館（旧神崎郡役所）	歴史的な建物・石造物
10	4	屋台	祭りや講など
10	4	鬼追式（神積寺）	祭りや講など
10	4	もち麦麺	産業・なりわい
10	4	松岡鼎	人物やその功績
10	4	井上通泰	人物やその功績
10	4	松岡映丘	人物やその功績
10	4	吉識雅夫	人物やその功績
18	3	旧辻川郵便局	歴史的な建物・石造物
18	3	神積寺	歴史的な建物・石造物
18	3	銀の馬車道	遺跡

※集計にあたっては、回答趣旨が変わらない範囲で表現を修正している。

表 S2-10 大切だと思う福崎町の歴史文化遺産（全回答一覧）

歴史的な建物・石造物	回答数
柳田國男生家	15
大庄屋三木家住宅	14
歴史民俗資料館（旧神崎郡役所）	4
旧辻川郵便局	3
神積寺	3
岩尾神社	2
熊野神社	2
石造鳥居（岩尾神社）	2
鈴ノ森神社	1
應聖寺	1
日光寺	1
西光寺の毘沙門堂（仁王門）	1
有井堂	1
石橋（岩尾神社）	1
立石（山崎）	1
小國家	1
上井と下井用水	1
辻川山三角点	1
新町の道標（大イチョウ下）	1
※各地域の寺社（神社は旧村社・郷社以上）	1
※各地に残る道標	1
※地蔵	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

遺跡	回答数
銀の馬車道	3
大塚古墳	2
東広畑古墳	2
駒ヶ岩と船着場	2
妙徳山古墳	1
辻川最古の道	1
古宮	1

祭りや講など	回答数
秋祭り	11
屋台	4
鬼追式（神積寺）	4
浄舞	2
田原文殊会式	1
宝塔祭	1
應聖寺護摩焚き	1
辻川鬼太鼓	1
とんど	1
伊勢講	1
※祭具（国産製の本来のもの）	1
※各地区の祭り・伝統行事	2
※各地域の寺社の祭り（昔から続いているもの）	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

暮らし	回答数
正月の歳取神事	1
正月の雑煮	1
正月のお節料理	1
サバ寿司（播州の腐れ寿司）	1
どじょう汁	1
甘酒	1
※季節ごとの郷土料理	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

産業・なりわい	回答数
もち麦／もち麦の栽培	11
もち麦麵	4
もち麦ごはん	1
もち麦を使った特産品	1
もち麦関連食品	1
ヤマモモ	1
桃の栽培	1

自然・風景	回答数
七種の滝	18
七種山	2
神前山	2
日光寺山	2
駒ヶ岩	2
辻川山	1
七種川	1
ため池群	1
社がある池	1
熊野神社の森	1
大イチョウ（馬田出屋敷）	1
百歳の森	1
※イチョウ	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

説話・伝承	回答数
河童伝説	10
九尾の狐の話	1
西光寺のキツネ	1
北野の文殊	1

古文書、絵馬、仏像など	回答数
木造薬師如来坐像（神積寺）	7
木造文殊菩薩坐像（神積寺）	1
銅像誕生釈迦仏立像（應聖寺）	1
※すべて	1

※印は物件を特定していない抽象表現による回答

人物やその功績	回答数
柳田國男	21
松岡静雄	5
松岡鼎	4
井上通泰	4
松岡映丘	4
吉識雅夫	4
岸上大作	2

その他	回答数
西光寺の開拓史	1
妖怪	1

設問②	これまで（現在も含む）、御社（店舗や事業所等を含む）として、保存や活用に関わってきた歴史文化遺産があれば、その名前、関わってきた内容について教えてください。
-----	--

【回答区数：13 事業所（43%）、「特になし」又は無回答：17 事業所（57%）】

● これまでの歴史文化遺産との関わり

- ・ 13 事業所から合計 26 件の歴史文化遺産との関わりがあげられました。
- ・ 関わってきた歴史文化遺産の類型は、「祭りや講など」が 16 件、「歴史的な建物、石造物」が 7 件、「遺跡」が 2 件であり、その他の類型の回答は見られませんでした。
- ・ 関わりの内容は、「歴史的な建物、石造物」は 5 件が「修理・改修・再建等に当たっての寄付」であり、「改修工事等」と「玉垣奉納」が各 1 件、「祭りや講など」は 15 件が「寄付・協賛・御花」であり、「休日の変更」が 1 件、「遺跡」の 2 件はいずれも「研究会」としての関わりでした。（表 S2-11）

表 S2-11 これまでの歴史文化遺産との関わり

関わってきた歴史文化遺産の類型	関わりの内容	回答数	
歴史的な建物、石造物	修理・改修・再建等に当たっての寄付	5	7
	改修工事等	1	
	玉垣奉納	1	
遺跡	研究会	2	2
祭りや講など	寄付・協賛・御花	15	16
	休日の変更	1	

設問③	今後、御社（店舗や事業所等を含む）として、保存や活用に関わっていききたい歴史文化遺産があれば、その名前、関わっていききたい内容について教えてください。
-----	---

【回答区数：10 事業所（33%）、「特になし」又は無回答：20 事業所（67%）】

● 今後の歴史文化遺産との関わり意向

- ・ 10 事業所から合計 17 件の歴史文化遺産との関わり意向があげられました。
- ・ 回答の大半が現在の関わり（設問②の内容）の継続でした。（表 S2-12）
- ・ 新しい関わりの内容としては、「三木家住宅（歴史的な建物、石造物）を宿泊施設として利用する」、「もちむぎの館（その他）を接待等に利用してもち麦を広める」という回答でした。

表 S2-12 今後の歴史文化遺産との関わり意向

関わってきた歴史文化遺産の類型	関わりの内容	回答数	
歴史的な建物、石造物	修理・改修・再建等に当たっての寄付（継続）	2	4
	社としての利用	1	
	その他（活用に協力）	1	
祭りや講など	寄付・協賛・御花（継続）	11	12
	休日の変更（継続）	1	
その他	社としての利用	1	1

設問④	福崎町による歴史文化遺産を活かしたまちづくりや、企業（店舗や事業所等を含む）と歴史文化遺産の保存・活用との関わりについて、ご意見等をご自由にご記入ください。
-----	--

【回答区数：9事業所（30%）、「特になし」又は無回答：21事業所（70%）】

● 福崎町における歴史文化遺産を活かしたまちづくり等に対する自由意見

- ・「要望・提案」についての意見と「今後の意向」についての意見に大きく分けられ、「要望・提案」は、「体制」「調査」「情報発信・意識啓発」「活用」「その他」に細分できました。意見の概要は表 S2-13 の通りです。

表 S2-13 福崎町による歴史文化遺産を活かしたまちづくりに対する意見概要一覧

要望 提案	体制	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちづくり協力金」制度を税制優遇措置とセットで創設し、企業の協賛を得やすくしてはどうか。
	調査	<ul style="list-style-type: none"> ・古宮跡地は、埋蔵物が出土する可能性が高く、重要施設になる可能性があるが資料がほとんどない遺跡であり、区域確定のための調査が必要である。 ・駒ヶ岩と船着場は、江戸時代に構築されたと推定される高瀬舟の船着き場。大庄屋三木家の年貢米の出荷施設であるが、地域の特産品などの姫路飾磨津や市川流域への物流の拠点でもあった。地域経済を支えたかまぼこ型をした石積の船着き場の構築経過などの資料がほとんどないため、調査が必要である。 ・室町時代、嘉吉の乱により西光寺（宝性院）一帯が焼き払われた又は潰されたという話が知りたい。
	情報発信 意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・町内に勤める人、住んでいる人ともに、歴史文化に無関心な人が多いように思う。特に町外から勤めているひとはそれらを知る機会がほとんどない。福崎町商工会を通じて歴史的価値が再発見・再認識できる機会をいただくとよい（福崎町HPの歴史文化関連の充実など）。 ・福崎町は住みたい街 No.1 に選ばれているので、文化面においても住民が自慢できるように遺産等の周知に努めることが肝要と思う。
	活用	<ul style="list-style-type: none"> ・駒ヶ岩と船着場は、川岸蔵の再建も含めて、一体の整備をすれば観光資源や地域住民の憩いの場として活用できると思われる。 ・作門寺山門から七種の滝までのコースは、自然豊かで、森林浴ができてとても気持ちがいいコース。多くの方に来てもらえるよう駐車場など整備できればと思う。 ・柳田國男先生を通じた妖怪を活用した町おこしには大変共感している。ファンは多いと思う。歴史文化遺産とのコラボレーションをさらに強化してはどうかと思う。 ・歴史文化遺産の周辺整備で整然とした環境が人を呼び込むためには不可欠に思う。 ・昔から町では文化の町で活動を行っているので、今後も柳田國男をはじめ、各種歴史文化遺産も含め、もっとPRとリンクをさせていかないといけないと思う。そのためには民間の力、協賛もうまく活用しながら、既存のコンテンツ（歴史文化遺産他）とうまくつないでいければと思う。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・各歴史文化遺産を個別コンテンツとして捉えるのではなく、福崎町全体あるいは特定区域を一体として捉え、該当エリア全体を「テーマパーク」的発想で盛り上げていくスタンスおよびコンセプトを基本としたまちづくりを行うべきである。
今後の意向		<ul style="list-style-type: none"> ・福崎町商工会として、地域経済が活性化できるように文化遺産の活用に係わっていきたいと考えている。 ・企業の存続は地域の発展とともにあると考えている。事案ごとに判断しながら、町内の文化遺産等の維持にできるだけ協力・協賛したい。 ・小企業では経営者個人の活動と法人の活動を区分けすることは難しい。特に企業だからといった意識ではなく、地域の一員としての役割を、要求される立場（法人あるいわ個人）に応じて関わっていきたい。

資料3 福崎町の歴史文化遺産

資料3-1 歴史文化遺産の把握調査（参考文献等）一覧

把握調査等の事業主体：●町・町の機関 ■町民 ●県 ○国

類型		歴史文化遺産の把握調査成果・資料等	
全般		<ul style="list-style-type: none"> ●『福崎町史 第一巻（本文編Ⅰ）』（平成6年3月、福崎町史編集専門委員会編集、福崎町発行） ●『福崎町史 第二巻（本文編Ⅱ）』（平成7年3月、福崎町史編集専門委員会編集、福崎町発行） ●『福崎町史 第三巻（資料編Ⅰ）』（平成2年7月、福崎町史編集専門委員会編集、福崎町発行） ●『福崎町史 第四巻（資料編Ⅱ）』（平成3年8月、福崎町史編集専門委員会編集、福崎町発行） ■『高橋部落史』（平成12年1月、高橋区） ■『板坂村史』（平成15年3月、板坂区） ■『ふるさと だいもん』（平成19年6月、大門区） ■『田口村の歴史』（平成23年5月、田口区） ■『西光寺村史』（平成27年、西光寺区） ■『余田の歴史』（令和4年、余田区） ■『かたりべ』第1集～第18集（昭和55年～平成12年） ●『地域のお宝再発見』（平成31年3月、福崎町） ●福崎町立神崎郡歴史民俗資料館の特別展パンフレット ●自治会・企業アンケート調査（令和2年度実施） 	
有形文化財	建造物	建築物	<ul style="list-style-type: none"> ●『兵庫県の近世社寺建築—兵庫県近世社寺建築緊急調査報告書—』（昭和55年3月、兵庫県教育委員会編集・発行） ●『景観資源発掘及び景観重要建造物指定調査報告書』（平成19年3月、兵庫県県土整備部まちづくり局景観形成室） ●『兵庫県の近代和風建築—兵庫県近代和風建築総合調査報告書—』（平成26年3月、兵庫県教育委員会編集・発行） ●古民家再生促進支援事業（兵庫県）に基づく建物調査（兵庫県住宅建築局） ●『近代遺跡調査報告書 政治（官公庁等）』（平成26年3月、文化庁文化財部記念物課） ●『近代遺跡調査報告書 交通・運輸・通信業 第2分冊』（平成31年1月、文化庁文化財第二課）
		石造物	<ul style="list-style-type: none"> ●『福崎町の文化財第三集 石造遺品』（平成5年3月、福崎町歴史民俗資料館編集、福崎町教育委員会発行） ●『広報ふくさき No.325』（平成5年12月）、『かたりべ 第十三集』（平成5年11月、福崎町かたりべ会編集・発行）
		その他の構造物	●『兵庫県の近代化遺産—兵庫県近代化遺産（建造物等）総合調査報告書—』（平成18年3月、兵庫県教育委員会編集・発行）
	美術工芸品	絵画	●『絵馬』（昭和60年3月、神崎郡歴史民俗資料館編集、福崎町教育委員会発行）
		彫刻・工芸品	※個別の把握調査は実績できていない
		書跡・典籍・古文書・歴史資料	<ul style="list-style-type: none"> ●『兵庫県指定文化財 三木家住宅 総合調査報告書』（平成11年3月、福崎町教育委員会編集・発行） ●平成21～24・30年度及び令和元年度神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター事業報告書 ●『福崎町の棟札』（平成21年10月、福崎町立神崎郡歴史民俗資料館編集、福崎町教育委員会発行）
		考古資料	※出土遺物等の保管のみで、リスト化等の整理作業は実施できていない
無形文化財	音楽・演劇・工芸技術等	※個別の把握調査は実績できていない	

民俗 文化財	有形の 民俗 文化財	祭具	●『福崎町内秋季例大祭映像記録』(平成 28 年 3 月、福崎町文化協会企画・制作)
		民具	● 福崎町立神崎郡歴史民俗資料館所蔵の民具データ ● 平成 29・30 年度神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター事業報告書
	無形の 民俗 文化財	年中行事・ 民俗芸能	●『ふくさきのまつりごと』(平成 17 年 10 月、福崎町立神崎郡歴史民俗資料館編集、福崎町教育委員会発行) ●『兵庫県民俗調査報告 12 兵庫県の民俗芸能：民俗芸能レッドデータブック』(平成 9 年 3 月、兵庫県教育委員会編集・発行) ●『平成 16 年度文化庁ふるさと文化再興事業伝統文化総合支援研究委嘱事業実施報告書 播磨の祭礼－屋台とダンジリー』(平成 17 年 3 月、兵庫県教育委員会編集・発行) ●『平成 18 年度文化庁ふるさと文化再興事業伝統文化総合支援研究委嘱事業実施報告書 播磨の王の舞』(平成 17 年 3 月、兵庫県教育委員会編集・発行) ●『兵庫県の祭り・行事－兵庫県のまつり・行事調査報告書』(令和 2 年 3 月、兵庫県教育委員会編集・発行)
		その他の 風俗慣習	●『平成 28 年度 伝統的生活文化実態調査事業報告書【郷土食】』(平成 29 年 3 月、文化庁文化財部伝統文化課)
記念物	遺跡	散布地・集落跡・ 生産遺跡等・古 墳・その他の墓・ 城館跡・寺社跡	●●『兵庫県遺跡地図』(兵庫県教育委員会) ●『福崎町埋蔵文化財調査概要報告』1～19 (平成 5 年 3 月～令和 2 年 3 月、福崎町教育委員会編集・発行)
		街道・古道等	●『近代遺跡調査報告書 交通・運輸・通信業 第 1 分冊』(平成 30 年 3 月、文化庁文化財部記念物課) ●『福崎の道』(平成 19 年 10 月、福崎町立神崎郡歴史民俗資料館編集、福崎町教育委員会発行)
		戦跡	● 特殊地下壕位置図 (平成 22 年、福崎町)
	名勝地	庭園・河川・ 滝・山岳等	●『名勝に関する総合調査－全国的な調査(所在調査)の結果－報告書』(平成 25 年 4 月、文化庁文化財部記念物課) ●『兵庫の貴重な自然』兵庫県版レッドデータブック (2011、兵庫県農政環境部)
	動物・ 植物・ 地質鉱 物	動物・植物・ 地質鉱物	●『第 5 回自然環境基礎調査 特定植物群落調査報告書』(平成 12 年 3 月、環境庁自然保護局生物多様性センター) ●『兵庫の貴重な自然』兵庫県版レッドデータブック (2011～2014,2017,2020、兵庫県農政環境部) ● 福崎町指定「保存樹」
文化的景観	生活・生業・風 土により形成 された景観地	※個別の把握調査は実績できていない	
伝統的建造物群	歴史的な 町並み等	●『景観資源発掘及び景観重要建造物指定調査報告書』(平成 19 年 3 月、兵庫県県土整備部まちづくり局景観形成室)	
文化財類型に 該当しないもの	信仰の場	●『福崎町神社仏閣まっぷ』(平成 30 年 5 月、福崎町観光協会)	
	民間説話・ 地名・伝承地・ 屋号等	■『かたりべ』第 16・17 集 福崎町小字名調査特集 (福崎町かたりべ会) ■『福崎ものがたり I』(平成 20 年 2 月、福崎町立図書館応援隊)	

※ 国・県の調査報告書は、福崎町の歴史文化遺産が掲載されているもののみ記載しています。

資料3-2 指定等文化財

(1) 国指定文化財

番号	種別	名称	所在地	指定年月日	所有者	管理者
1	重要文化財 (彫刻)	木造薬師如来坐像 1 軀	東田原 1891	M34.8.2	神積寺	神積寺

(2) 兵庫県指定文化財

番号	種別	名称	所在地	指定年月日	所有者	管理者
2	重要有形文化財 (建造物)	石造五重塔 1 基	西田原 752	S44.3.25	神積寺	神積寺
3	重要有形文化財 (建造物)	石造鳥居 1 基	東田原 1935-1	S44.3.25	岩尾神社	岩尾神社
4	重要有形文化財 (建造物)	石橋 1 基	東田原 1935-1	S45.3.30	岩尾神社	岩尾神社
5	重要有形文化財 (建造物)	三木家住宅 9 棟	西田原 1106	S47.3.24	福崎町	福崎町
6	重要有形文化財 (建造物)	岩尾神社本殿 1 棟	東田原 1935-1	S58.3.29	岩尾神社	岩尾神社
7	重要有形文化財 (建造物)	旧神崎郡役所 1 棟	西田原 1038-12	S62.3.24	福崎町	福崎町
8	重要有形文化財 (考古資料)	阿弥陀種子板碑 1 基	東田原 1891-1	S48.3.9	神積寺	神積寺
9	重要有形民俗文化財	柳田國男生家 1 棟	西田原 1038-12	S47.3.24	福崎町	福崎町
10	重要無形民俗文化財	福崎町鍛冶屋の かくしほちよじ	鍛冶屋区	R3.3.19	鍛冶屋区	かくしほちよ じ保存会
11	史跡	妙徳山古墳 1 基	東田原 1891-1	R2.3.13	神積寺	神積寺
12	名勝	七種山 39,500 m ²	田口 703-2 他	S44.3.25	金剛城寺	金剛城寺
13	名勝	應聖寺庭園 905 m ²	高岡 1912	H4.3.24	應聖寺	應聖寺

(3) 福崎町指定文化財

番号	種別	名称	所在地	指定年月日	所有者	管理者
14	有形文化財 (建造物)	阿弥陀堂 1 棟	解体保存中	S51.4.1	福田区	福田区
15	有形文化財 (建造物)	悟真院唐門 1 棟	東田原 1905	S51.4.1	悟真院	悟真院
16	有形文化財 (建造物)	法界萬靈塔 1 基	山崎千束 45-1	H8.4.1	山崎区	山崎区
17	有形文化財 (建造物)	石燈籠 1 対	東田原 1891	H8.4.1	神積寺	神積寺
18	有形文化財 (建造物)	おかげ燈籠 1 基	大貫字山王 2617	H8.4.1	日吉神社	西大貫区
19	有形文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来坐像 1 軀	福田 786	S51.4.1	福田区	福田区

20	有形文化財 (彫刻)	石造地藏菩薩像	1 軀	田口 236	S51.4.1	金剛城寺	金剛城寺
21	有形文化財 (彫刻)	石造地藏菩薩立像	1 軀	東田原 1	S51.4.1	大門区	大門区
22	有形文化財 (彫刻)	石造宝塔 (残欠)	1 基	東田原 1905	H 元.4.1	悟真院	悟真院
23	有形文化財 (彫刻)	石造五如来坐像	5 軀	南田原 578	H8.4.1	長目区	長目区
24	有形文化財 (彫刻)	木造文殊菩薩坐像	1 軀	東田原 1891	H14.4.1	神積寺	神積寺
25	有形文化財 (彫刻)	木造阿弥陀如来坐像	1 軀	東田原 1891	H30.3.22	神積寺	神積寺
26	有形文化財 (彫刻)	銅造誕生釈迦仏立像	1 軀	高岡 1912	H30.3.22	應聖寺	應聖寺
27	有形文化財 (工芸)	妙法寺 梵鐘	1 口	山崎 843	S59.11.15	妙法寺	妙法寺
28	有形文化財 (考古資料)	壺棺 (A)	1 個	西田原 1038-12	S47.1.12	福崎町教育 委員会	福崎町教育 委員会
29	有形文化財 (考古資料)	壺棺 (B)	1 個	西田原 1038-12	S47.1.12	福崎町教育 委員会	福崎町教育 委員会
30	有形文化財 (歴史資料)	つるべ	1 個	西田原 1038-12	H 元.4.1	福崎町教育 委員会	福崎町教育 委員会
31	有形民俗文化財	固寧倉	1 棟	福田 861	S53.12.1	福田区	福田区
32	有形民俗文化財	庚申塔	1 基	高岡山ノ上 1963-5	H8.4.1	桜区	桜区
33	無形民俗文化財	追儺		東田原 1891	S53.3.15	神積寺	妙徳山神積寺 追儺式保存会
34	無形民俗文化財	浄舞		西田原 1539	S53.3.15	熊野神社浄 舞保存会	熊野神社浄 舞保存会
35	無形民俗文化財	浄舞		余田区	S53.3.15	余田区 (大歳神社)	余田大歳神社 浄舞保存会
36	無形民俗文化財	獅子舞		桜区	S53.3.15	桜獅子舞保 存会	桜獅子舞保 存会
37	無形民俗文化財	法成就講		高橋区	S58.3.22	高橋区	高橋区
38	史跡	大塚古墳	1 基	山崎 565	S47.1.12	福崎財産区	山崎区
39	史跡	相山古墳	1 基	大貫 2909	S47.1.12	個人	個人
40	史跡	東広畑古墳	1 基	西田原字東広畑	H9.2.19	福崎町	福崎町
41	史跡	東新田古墳	1 基	西田原字東新田	H9.2.19	福崎町	福崎町
42	史跡	神谷古墳	1 基	高岡 1937	H26.5.1	醫王寺	醫王寺
43	史跡	朝谷 1 号墳	1 基	山崎 1005-40	R3.3.23	個人	個人
44	天然記念物	クロガネモチ	1 本	八千種 1162	S61.4.1	嶺雲寺	嶺雲寺

45	天然記念物	ヤマモモ	2 幹本	西田原 1308-7	S61.4.1	鈴ノ森神社	辻川区
46	天然記念物	イチヨウ	1 本	福崎新 64	S61.4.1	福崎町	福崎町
47	天然記念物	コヤスノキ	群生	田口（七種山中）	S61.4.1	金剛城寺	金剛城寺

(4) 国登録文化財

番号	種別	名称		所在地	登録年月日	所有者	管理者
48	登録有形文化財 (建造物)	旧小國家住宅主屋	1 棟	山崎 814	H19.12.5	個人	個人
49	登録有形文化財 (建造物)	旧小國家住宅診療所	1 棟	山崎 814	H19.12.5	個人	個人
50	登録有形文化財 (建造物)	旧小國家住宅長屋門	1 棟	山崎 814	H19.12.5	個人	個人
51	登録有形文化財 (建造物)	旧小國家住宅塀	1 棟	山崎 814	H19.12.5	個人	個人
52	登録有形文化財 (建造物)	旧辻川郵便局	1 棟	西田原 1022-1	H20.7.8	福崎町	福崎町

資料3-3 福崎町の歴史文化遺産

ここでは、本計画の作成にあたって把握した歴史文化遺産のうち、地図に所在地や開催場所等を表示できるものを類型ごとに示しています。歴史文化遺産の一覧表は、別冊「資料編」を参照してください。

有形文化財（建造物：建築物、その他構造物）

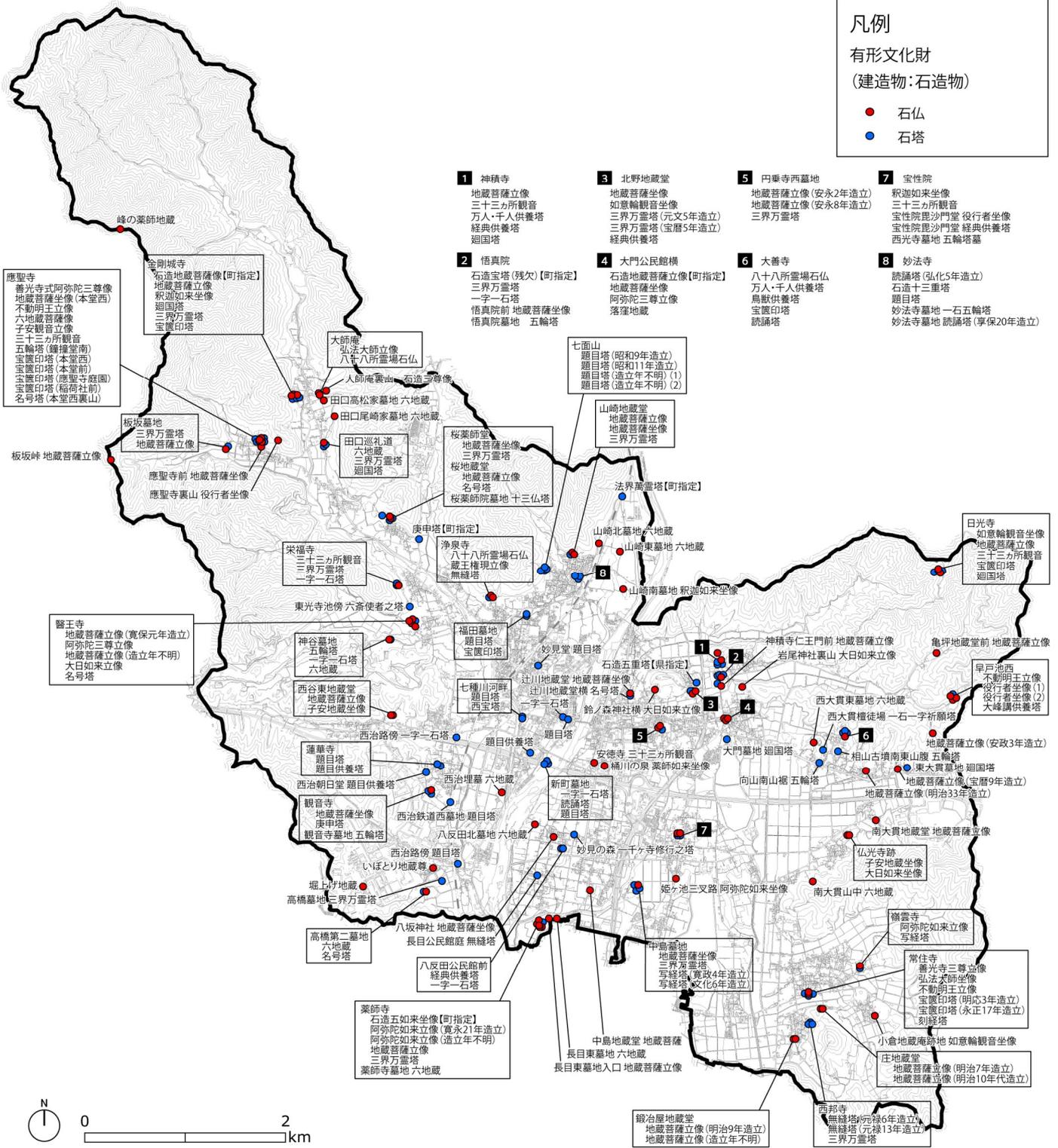


有形文化財（建造物：石造物〔石仏・石塔〕）

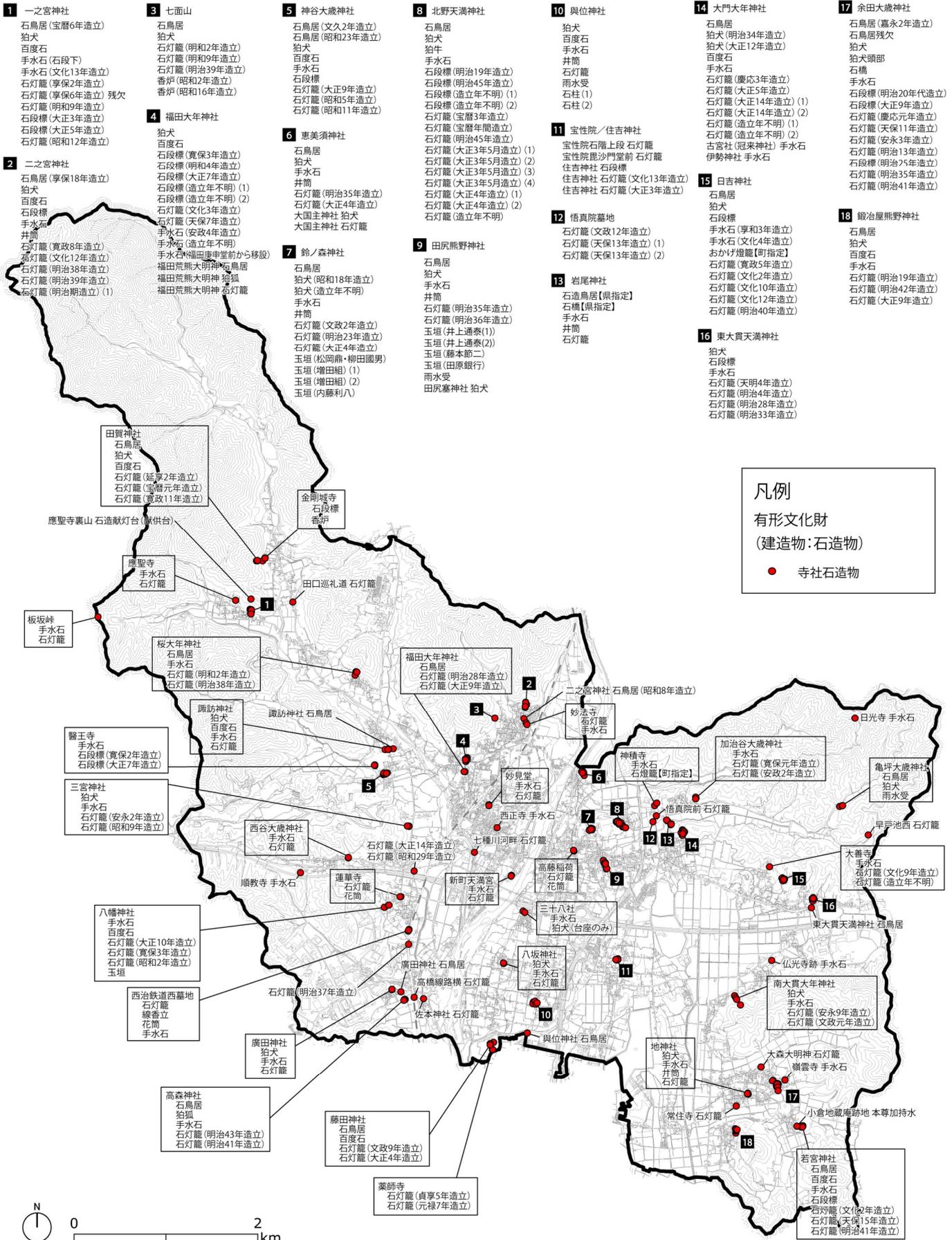
凡例

有形文化財
（建造物：石造物）

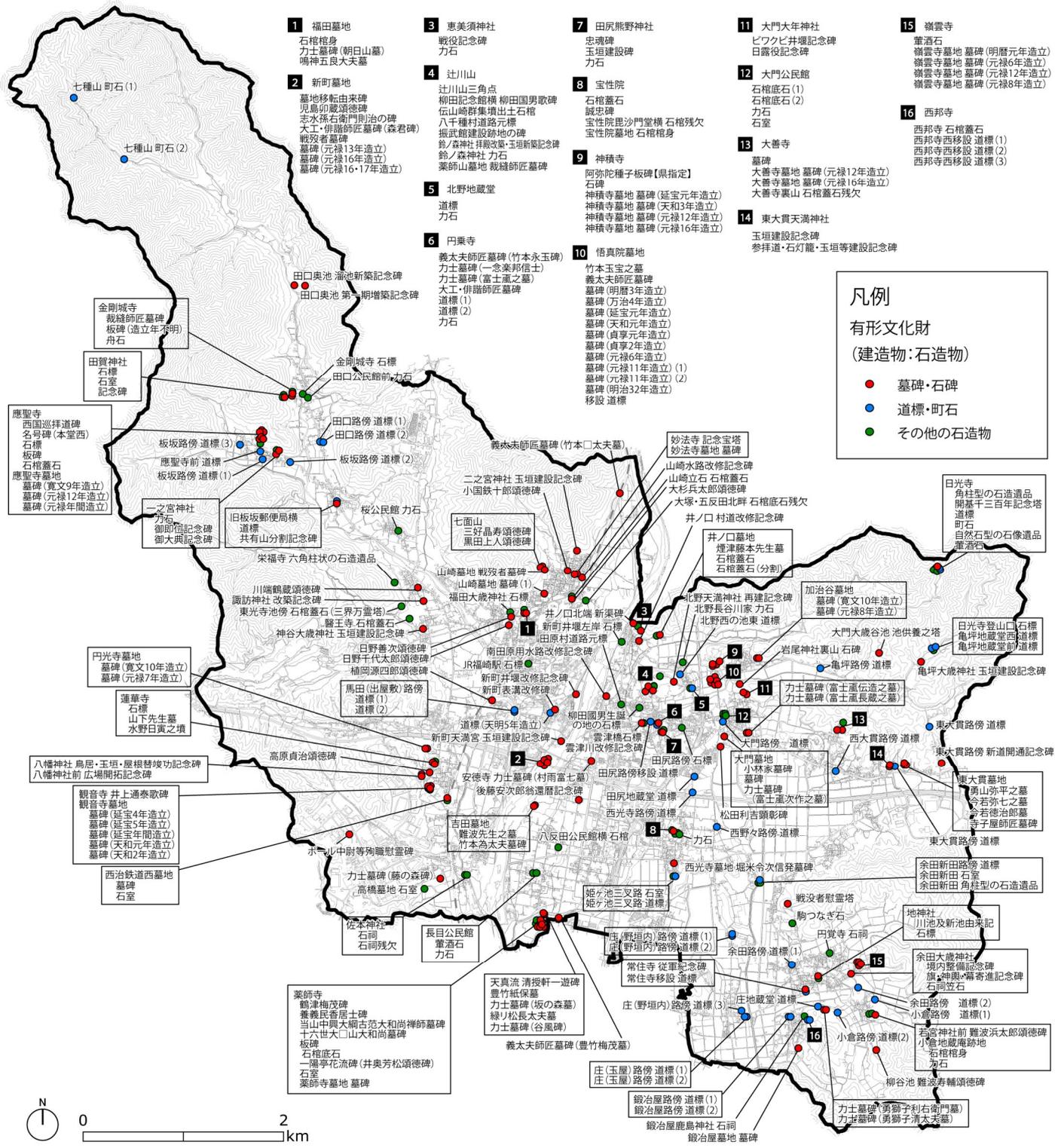
- 石仏
- 石塔



有形文化財（建造物：石造物〔寺社石造物〕）

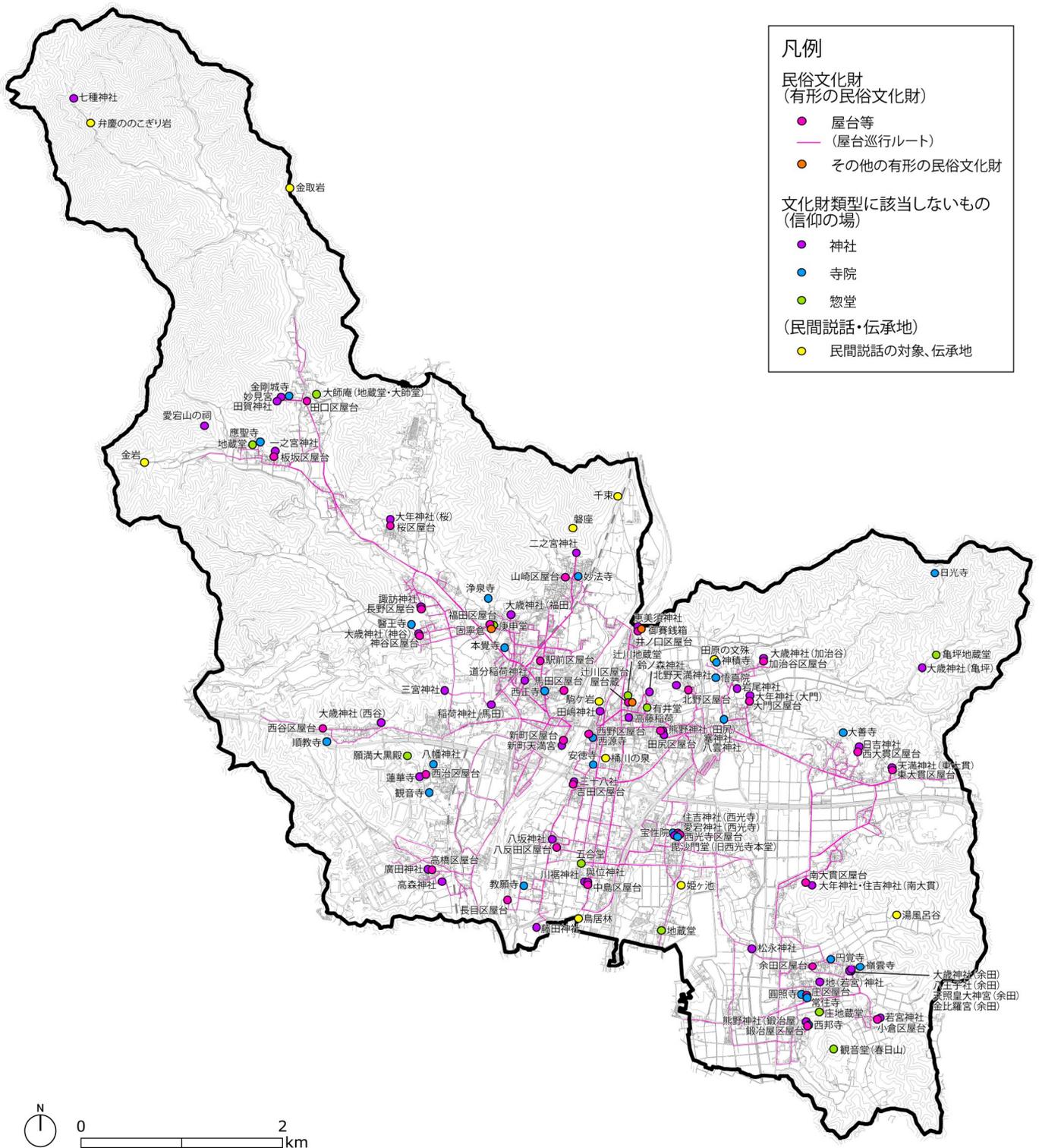


有形文化財（建造物：石造物〔道標・町石、墓碑・石碑、その他の石造物〕）



民俗文化財（有形の民俗文化財：祭具〔屋台〕）

文化財類型に該当しないもの（信仰の場、民間説話・伝承地）



民俗文化財（無形の民俗文化財：年中行事・民俗芸能）

- 1 長目区**
 斎灯(1/27, 藤田神社)
 涅槃会(2/11, 公民館)
 花まつり(4/29, 公民館)
 湯立(7/16, 藤田神社)
 四萬六千(旧暦7/10, 公民館)
 七夕祭・盆踊り(旧暦7/6, 8/12, 子供広場)
 地蔵祭(3/20・8/20・9/23, 上中島地蔵堂)
- 2 中島区**
 とんどまつり(1/9, 上中島グラウンド)
 花まつり(5/8, 集会所(五合堂))
 湯立・川權祭り(7/16, 奥位神社・公民館)
 七夕祭(8/5, 上中島公民館)
 盆踊り(8/14, 奥位神社・公民館)
 施餓鬼供養(8/22, 集会所(五合堂))
 地蔵祭(3/20・8/20・9/23, 上中島地蔵堂)
- 3 西光寺区**
 正月行事(1/3, 住吉神社)
 斎灯・節分護摩供・豆まき(2/3, 住吉神社)
 涅槃会(2/15, 宝性院)
 春季善光寺法要(4/30, 宝性院)
 花まつり法要(5/8, 宝性院)
 夏祭り(7/29, 住吉神社)
 盆踊り・納涼大会(旧暦土曜, 公民館前・宝性院前広場)
 地蔵盆(8/24, 宝性院・4隣保・8隣保)
- 4 八反田区**
 斎灯(2/3, 八坂神社)
 涅槃会(2/15, 公民館)
 花まつり(5/8, 公民館)
 祇園さん(7/7, 八坂神社)
 湯立(海の日, 藤田神社(長目))
 盆祭り(8/23前後の土曜・日曜, 公民館)
 地蔵祭・地蔵盆(8/23前後の土曜・日曜, 公民館)
- 5 吉田区**
 斎灯(2/3, 三十八社)
 湯立(7/18)
 七夕祭(8/4)
 地蔵盆・夏祭り・施餓鬼(8/9, 安徳寺)
 四萬六千(8/9, 安徳寺)
- 6 西野区**
 斎灯(2/3, 田嶋神社)
 彼岸会・春(3/8, 西源寺)
 盆踊り(8/26, 公民館)
 彼岸会・秋(9/20, 西源寺)
- 7 井ノ口区**
 トンド(2月第1土曜・初夜前日, 恵美須神社)
 えびすまつり・初夜別大祭(2/11, 恵美須神社)
 夏夜(7/10, 恵美須神社)
- 8 北野区**
 斎灯(2/3, 北野天満神社)
 夏まつり(7/25, 北野天満神社)
- 9 辻川区**
 正月祭(1/1-1/3, 恵美酒神社・鈴ノ森神社・高藤稲荷)
 トンド(1/13又は14, 鈴ノ森神社・高藤稲荷)
 初午(2月最初の午の日, 高藤稲荷)
 斎灯(2/3, 鈴ノ森神社・高藤稲荷)
 冬えびす(1月, 恵美酒神社)
 夏えびす(7月, 恵美酒神社)
 夏まつり(7月第2日曜, 鈴ノ森神社)
 地蔵祭(8/23, 地蔵堂)
- 10 田尻区**
 トンド(1/14, 落ヶ池北畔)
 斎灯(節分の日, 熊野神社)
 田尻祭(節分の日, 熊野神社境内社賽神社)
 夏まつり(8/18, 熊野神社)
 地蔵祭(8月, 円乗寺)
- 11 大門区**
 節分・斎燈(2/3, 大年神社)
 花まつり(5/8, 万福寺)
 夏まつり(7/11, 大年神社)
 虫送り(海の日, 大年神社〜桜上池)
 地蔵盆(8/23, 公民館地蔵尊前)
- 12 加治谷区**
 初詣(1/1, 大歳神社)
 遠藤(魂追い)(成人の日, 神積寺)【町指定】
 初午(2月, 重成大明神)
 斎灯(2/3・12/31, 大歳神社)
 文殊会式(3月春分の日, 神積寺)
 夏まつり(7月, 大歳神社)
 地蔵盆(8/23, 公民館他)
- 13 亀坪区**
 斎灯(2/3, 大歳神社)
 夏祭り(7/9, 大歳神社)
 地蔵盆(8/23, 地蔵堂)
- 14 南大貴区**
 初詣・振舞い酒・年始詣り(12/31, 住吉神社)
 きつね追い(1/14, 南大貴区内)
 トンド(1/15, 公民館付近の田)
 初午(2/12, 住吉神社)
 夏まつり・百瀬(8/2, 住吉神社又は大年神社)
- 15 東大貴区**
 七夕祭(8/7, 公民館)
- 16 西大貴区**
 元旦・灯り入れ(1/1-1/3, 日吉神社)
 きつね追い(1月第2日曜, 西大貴区内)
 とんど(1月第2日曜, 西大貴区内)
 初午(2/11, 吉本稲荷神社)
 花まつり(4月, 大善寺)
 申祭(5月, 日吉神社)
 祇園祭(7/7, 日吉神社西の祇園社)
 七夕祭(大貴やさい市場)
 千灯供養(8/15, 西大貴墓地)
 ホットコロシ(8月, 大善寺)
 彼岸会・秋
- 17 余田区**
 トンド祭(1月, 余田区内各隣保)
 初午(2月最初の午の日)
 夏まつり(7月)
 盆踊り(8月, 地蔵公園)
 地蔵盆(8月, 地蔵公園)
- 18 小倉区**
 とんど(1月)
 初午(2月の午の日, 岸本稲荷・塚森稲荷)
 地蔵盆(8/23, 公民館)
- 19 庄区**
 初午(2月第1日曜, 松永神社)
 七夕祭(公民館)
 盆踊り(公民館)
- 20 鍛冶屋区**
 かくしほちよじ(成人の日前日・当日, 鍛冶屋区内)【県指定】
 オの堂(1/14, 公民館)
 お般若(7/9, 西邦寺)
 盆祭り(8/6, 公民館)
 地蔵盆(8/23, 鍛冶屋区内の地蔵尊)
 虫送り・施餓鬼(8/24, 西邦寺)
 七夕祭
 彼岸会・秋(8/20, 西邦寺)
- 21 新町区**
 初詣(1/1-1/3, 新町天満宮)
 初天神祭(1/25, 新町天満宮)
 斎灯・とんど(2/3, 新町天満宮)
 宝塔祭(新町区内4箇所)の宝塔)
 夏まつり(7/25, 新町天満宮)
- 22 馬田区**
 トンド(1/14, 児童公園)
 斎灯(2/3, 西山稲荷神社)
 七夕祭(7月, 公民館)
 盆踊り(8/16, 西山稲荷神社)
 地蔵盆(8/23, 西正寺)
- 23 山崎区**
 正月行事(1/1, 二之宮神社)
 トンド(1/14, 二之宮神社)
 斎灯(2/3, 二之宮神社)
 彼岸会・春(9月, 妙法寺)
 茅の輪くぐり(二之宮神社)
 孟蘭盆会
 盆祭り(8月, 二之宮神社)
 地蔵盆(8/23, 地蔵堂)
 彼岸会・秋(9月, 妙法寺)
- 24 駅前区**
 トンド(1/14, 福田水源地の空地)
 初午祭(2/11)
 夏まつり(7/25, 追分稲荷神社)
 七夕祭(8月第1日曜)
- 25 福田区**
 正月行事(1/1, 大歳神社)
 トンド(1/14, 大歳神社)
 柴灯(2/3, 大歳神社)
 夏まつり(7月中旬, 大歳神社)
 水神祭り(7月〜下旬, 西清水水源)
 八朔(8月最終土曜, 大歳神社)
- 26 田口区**
 初詣(1/1, 七種神社・田賀神社)
 トンド(1/14, 田口区内の各隣保)
 初午(初午の後の日曜, 稲荷神社)
 斎灯(2/3, 田賀神社)
 金比羅祭(4月・11月の最初の日曜, 金比羅神社)
 夏まつり(7/20前後の日曜, 七種神社・田賀神社)
 盆踊り(8/14, 集落センター)
 地蔵盆(8/24, 大師堂)
 お日待ち(11/30, 田賀神社)
- 27 板坂区**
 初詣(1/1, 應聖寺一之宮神社)
 トンド(1/14, 板坂区内の各隣保・應聖寺)
 愛宕祭(1/24, 愛宕山山頂の石像前)
 大日堂大般若転読会・春(1/28, 應聖寺)
 一之宮神社大般若転読会・春(2/1, 一之宮神社)
 採燈・節分(2/3-2/4, 一之宮神社)
 採燈大護摩・鬼舞(2月第1日曜, 應聖寺)
 初午(2月最初の午の日, 一之宮神社境内社稲荷神社)
 涅槃会(2/15, 應聖寺)
 彼岸会・春(3月, 應聖寺)
 金毘羅祭(3/10, 金毘羅神社)
 灌仏会・花まつり(5/8, 應聖寺)
 放生会(花まつりの前日又は翌日, 應聖寺)
 湯立・夏越の祓い(7月下旬, 一之宮神社)
 孟蘭盆会(8/15, 應聖寺)
 盆踊り(8/14, 公民館前広場)
 地蔵盆(8/24, 地蔵堂)
 お大師さん(4/21・8/21, 東山大師堂)
 大日堂大般若転読会・秋(8/28, 應聖寺)
 一之宮神社大般若転読会・秋(9/1, 一之宮神社)
 彼岸会・秋(9月, 應聖寺)
 霜月会(11/24, 應聖寺)
 除夜・除夜の鐘(12/31, 應聖寺)
- 28 桜区**
 トンド(1/14, 薬師広場)
 湯立(7/21, 大年神社)
 水神さん・雨乞い(7/23, 清湯)
 地蔵祭(8/23, 薬師地蔵堂)
 お日待ち(12/21, 大年神社)
 伊勢講
 獅子舞(秋季季大祭)【町指定】
- 29 長野区**
 斎灯・初護摩供(1/3, 諏訪神社)
 トンド(諏訪神社)
 斎灯(諏訪神社)
 夏まつり(諏訪神社)
 盆踊り(諏訪神社)
- 30 神谷区**
 トンド(1月第2日曜, 公民館)
 初午(2/11前後の日曜, 大歳神社)
 斎灯(2/3, 大歳神社)
 花まつり(5/5, 誓王寺)
 夏まつり(7月第3日曜, 大歳神社)
 地蔵盆(8/23, 大歳神社)
 ニジユツ(12/17, 大歳神社の稲荷社)
- 31 西谷区**
 トンド(1/14, 大歳神社)
 斎灯(節分の日, 大歳神社)
 湯立・夏まつり(7/15, 大歳神社)
 七ヶ祭(8/7, 公民館)
 盆踊り(8/14, 西谷区内の広場)
 地蔵盆(8/23, 西谷区内の各地蔵)
- 32 西冶区**
 トンド(1/14, 西冶区内の各隣保)
 厄神祭(1月, 八幡神社)
 斎灯(2/3, 八幡神社)
 彼岸会(節分)・施餓鬼供養(3月, 観音寺・蓮華寺)
 七夕祭(7/8, 公民館)
 盆踊り(8/12, さりふあドーム)
 孟蘭盆会・施餓鬼法要(8月, 観音寺)
 地蔵祭(8/24, 観音寺)
 彼岸会(秋)・施餓鬼供養(9月, 観音寺・蓮華寺)
- 33 高橋区**
 初午(高森神社)
 法成就講【町指定】
 斎灯(2/3, 廣田神社・高森神社)
 湯立・夏祭り(7/25, 廣田神社)
 田祭り(7/12, 高森神社)
 水神祭り(7月, 佐本八丈電王神社)
 七夕祭

- A 田原の秋祭り**
 (田原地区内、田尻熊野神社)
 ※浄舞(熊野神社)【町指定】
- B 大貴の秋祭り**
 (八千種地区旧大貴村の区域内、南大貴大年神社)
- C 八千種の秋祭り**
 (八千種地区旧八千種村の区域内、余田大歳神社)
 ※浄舞(余田大歳神社)【町指定】
- D 福崎の秋祭り**
 (福崎地区内、二之宮神社)



記念物（名勝地、動物・植物・地質鉱物）、文化的景観、伝統的建造物群



資料4 計画骨子（施策体系）

【取組主体】◎：中心となって取り組む
○：協力して取り組む

【計画期間】前期：～2年（R4～5年度）
中期：3～5年（R6～8年度）
後期：6～7年（R9～10年度）

【財源】国費：国の各種補助金 町費：町の単費
県費：県の各種補助金 団体費：団体の活動費

基幹事業（1/2）

取組分野	課題		方針	事業名 ※網掛けは新規事業	事業内容	措置														
						取組主体				計画期間			財源							
						町民等	専門家	行政 社会 教育課	その他 関係課	前 期	中 期	後 期	国 費	県 費	町 費	団 体費				
担い手育成	・歴史文化の大切さを十分に認識できていない人が多い。	・町民・大学・企業・出身者などのさまざまな主体における福岡市の歴史文化を大切に思う人・支える人の育成 ・歴史文化は自分たちのものという当事者意識の醸成	方針(1) 歴史文化の担い手となる福岡「つながり人」を育みます	1	歴史文化を気軽に学べる場づくり	下張り文書はがし・整理や発掘体験、歴史文化ものがたりを活かした歴史ウォーク、初心者向け歴史文化学習講座などの実施。	○	○	◎	○				○	○					
				2	歴史文化を気軽に学べるツールづくり	身近な小学校区を単位とした歴史文化読本や漫画、絵本、カルタなど、親しみやすく、楽しみながら歴史文化を学べるツールの作成。	◎	◎	◎	○					○	○				
				3	出前講座等の講師派遣	「福岡まちづくり出前講座」や「まちの先生」の各制度を活用した歴史文化分野における講師派遣。	○	○	◎	◎						○	○			
				4	地域交流広場事業	ふるさと発見ウォークや昔の遊び体験、茶道教室など、歴史文化をテーマとした地域交流広場事業の推進。	◎		○	○						○	○			
				5	公民館クラブ活動事業	趣味の活動から歴史文化への興味・関心につなげるための関連する歴史文化遺産や偉人などを学ぶ機会の創出や、さらなる活動の展開や交流のための成果発表会等の開催。	◎		◎	○							○	○		
				6	顕彰事業	福岡ゆかりの偉人の功績の顕彰とともに、新たな担い手の育成につなげるための「山桃忌」、「柳田國男ふるさと賞」、「柳田國男検定」、「吉識雅夫科学賞」などの事業の実施。	○	○	◎	○								○		
	・人口減少や少子高齢化が進み、歴史文化遺産の保存・活用の担い手が減少。 ・歴史文化の大切さを認識していても、実際の活動に十分に展開できていない。	・郷土学習や歴史文化体験、観光ガイド育成などを通じた歴史文化遺産の保存・活用の次世代の担い手の育成 ・歴史文化遺産の保存・活用に係る専門的な人材、まちづくりに活かすためのリーダー的な人材や活動団体等の育成	方針(2) さまざまな視点から、継続的な調査・研究を行います	(1)-②	福岡市の歴史文化の次世代の担い手を育みます	7	学校教育における歴史文化カリキュラムの検討	「柳田國男ふるさと賞」や歴史文化をテーマとした絵画展の開催などを通じた、小中学生等による歴史文化に係る研究・芸術活動の推進。	○	○	◎	◎						○		
				8	小中学生等による歴史文化研究・芸術活動の推進	「柳田國男ふるさと賞」や歴史文化をテーマとした絵画展の開催などを通じた、小中学生等による歴史文化に係る研究・芸術活動の推進。	○		◎	◎								○		
				9	本物に触れられる歴史文化学習	学校教育での出土遺物貸出や校外学習、ふくさき歴史体験隊やトライやる・ウィーク等を通じた本物の歴史文化遺産等に触れ、体験しながら学べる機会の提供。			◎	◎						○	○			
				10	伝統文化継承事業	祭りの太鼓や舞等の技術など、受け継がれる伝統の技・知識・知恵を伝える取組の推進。	◎		○	○						○	○			
				11	子ども観光ガイド育成事業	学校教育と連携した小学生・中学生・高校生等による観光ガイドの育成。	◎	○	◎	◎						○	○			
				12	歴史文化の専門的な人材の育成	学習講座等を通じて、古文書を解説できる人材、かたりべとなる人材、歴史文化について解説できる人材など、歴史文化に関する知識や技術をもつ専門的な人材の育成。	○	○	◎	◎						○	○			
				13	教員の自己研修支援	小中学校教員が福岡市の歴史文化に対する理解と知識を深めることができる研修会・勉強会等の開催。		○	◎	◎						○	○			
				14	民間活動団体の組織・育成	歴史文化に係るさまざまな分野の民間の活動団体の組織・育成。	◎		○	○								○	○	
調査・研究	・十分な把握調査が実施できていない類型が多く残る。	・寺社建築や彫刻・工芸品などの十分な調査ができていない類型や、民俗文化などの福岡市の歴史文化にとって特に重要となる類型の優先的な把握調査 ・子どもや出身者などの多様な視点からの把握調査	方針(2) さまざまな視点から、継続的な調査・研究を行います	(2)-①	歴史文化遺産の着実な把握調査と定期的な追跡調査を推進します	15	歴史的建築物の基礎調査	古民家や寺社建築などの歴史的建築物の把握調査（一次調査）の実施。	○	◎	◎	○					○	○		
				16	美術工芸品調査	自治会や寺社等が所有する古文書や絵画、彫刻などの美術工芸品の把握調査（一次調査）の実施。	○		◎						○	○				
				17	民俗文化調査	各自治会の祭り・行事の実施状況の定期的な調査、家の年中行事や民間説話などの調査等の実施。	◎	○	◎	○						○	○			
				18	歴史民俗資料館収蔵品の整理	歴史民俗資料館に収蔵する民具の来歴調査・整理や、資料のリスタ化・データ化等の実施。			◎							○	○			
	・町民等による調査・研究の取組が限定的。	・町民等を中心とした調査・研究の町全域への波及	方針(2) さまざまな視点から、継続的な調査・研究を行います	(2)-②	町民を中心とした歴史文化遺産の把握調査及び歴史文化研究を推進します	19	地域の歴史文化遺産把握調査	各自治会や小中学生、出身者等が大切に思う歴史文化遺産の把握調査の実施。	◎		◎	○						○		
				20	古文書調査	町民や専門家との協働による区有文書や寺社文書、三木家未調査資料等の把握調査及び整理の実施。	◎	◎	◎							○	○			
				21	地域史誌の編纂	自治会等による歴史文化や歴史文化遺産の調査・研究を通じた地域史誌の編纂の推進。	◎		○	○								○	○	
	・価値が明確になっていない歴史文化遺産が多く残る。	・専門家と連携した学術調査・詳細調査による価値の明確化やさらなる価値の解明 ・福岡市の歴史文化の価値や魅力についての継続的な調査・研究	方針(2) さまざまな視点から、継続的な調査・研究を行います	(2)-③	歴史文化遺産の価値や福岡市の歴史文化のさらなる魅力を明らかにします	22	未指定の歴史文化遺産の詳細調査	把握した歴史文化遺産の価値を明らかにするための詳細調査や、文化財指定等の可能性があるものの学術調査の実施。	○	◎	◎	○						○		
				23	指定等文化財の学術調査	指定等文化財のさらなる価値の解明に向けた指定等文化財や関連する歴史文化遺産の学術調査の実施。	○	◎	◎								○	○		
				24	福岡市の歴史文化総合調査研究	福岡市の歴史文化の価値や魅力に関する調査・研究の実施。	○	◎	◎	○								○		
保存・管理	・指定等を受けていないものを含めた数多くの歴史文化遺産の保存が必要。 ・老朽・破損等により保存措置が求められる歴史文化遺産が増加。 ・史料の保管・収蔵環境が十分に整っていない。 ・柳田國男生家の茅葺（藁葺）材の確保。 ・移り変わる民俗文化の価値の確実な継承が必要。	・文化財指定・登録等に向けた積極的な取組や、指定・登録等に至らない歴史文化遺産の関連制度による保存措置	方針(3) 歴史文化遺産の価値を確実に守り、伝えます	(3)-①	法・条例に基づく指定・登録等を推進します	25	文化財指定・登録等	登録文化財の提案制度を活用した文化財指定・登録等の推進を通じた、現状変更の許可制・届出制による価値の保存。	○	○	◎	○						○		
				26	関連制度に基づく指定等	景観や自然環境などの関連制度に基づく指定等の推進による価値の保存。	○	○	○	◎								○		
	・台風などの災害や火災、損傷・盗難等による歴史文化遺産の被害が増加している。	・歴史文化遺産の防災・防火・防犯対策の取組の拡充 ・盗難や破損などの万一の事態に備えた美術工芸品等の記録作成	方針(3) 歴史文化遺産の価値を確実に守り、伝えます	(3)-②	歴史文化遺産を適切に保存・管理します	27	歴史文化遺産の保存・修理	歴史文化遺産データベースに掲載する歴史文化遺産で、老朽化や破損などが見られるものの保存・修理の実施。	◎	○	◎	○						○	○	
				28	絵馬の保存・修理等の方策の検討	絵馬の保存・修理や適切な管理のための方策の検討。	○	◎	◎									○		
				29	歴史文化遺産の保管・収蔵施設の充実	既存の建築物を利用した美術工芸品等の保管・収蔵施設の整備、史料の保存・収蔵設備の充実等の検討。		○	◎										○	
				30	民俗文化の保存・継承	保存会等を中心とした祭り・行事等の伝統の技の保存・継承等の取組や映像記録等の継続的な記録作成。	◎	○	◎	◎							○	○		
				31	歴史文化遺産の日常的な維持・管理	境内清掃や古墳の草刈り等の維持・管理や文化財協力員等による見回り等の実施。	◎		◎										○	○
				32	指定等文化財の保存活用計画の作成	指定等文化財に必要なもの（公開・活用を行うもの等）について、適切な保存・管理（材料確保の方策や防災・防犯対策等を含む）のもとに活用を行うための個別計画の作成。			◎	◎									○	
			方針(3) 歴史文化遺産の価値を確実に守り、伝えます	(3)-③	歴史文化遺産の防災・防火・防犯体制を強化します	33	歴史文化遺産防火訓練の実施	歴史文化遺産防火の意識醸成や体制強化のための定期的な防火訓練の実施。	◎		◎	◎							○	
				34	美術工芸品の記録作成	災害等に備えた美術工芸品の写真撮影等の記録作成。	◎		◎									○	○	
				35	歴史文化遺産の防災・防火・防犯設備の整備	指定等文化財を中心とした防災・防火・防犯設備の設置の推進。	◎		◎	◎								○	○	
				36	(仮称)福岡市歴史文化遺産災害対応マニュアルの作成	歴史文化遺産の防災・防火の知恵の調査・整理や防災・防火・防犯意識の醸成・予防から応急対応、復旧・復興に至る災害対応マニュアルの作成。	○		◎	◎									○	○

基幹事業 (2 / 2)

【取組主体】◎：中心となって取り組む
○：協力して取り組む

【計画期間】前期：～2年 (R4～5年度) 中期：3～5年 (R6～8年度) 後期：6～7年 (R9～10年度)
■：主要な取組期間

【財源】国費：国の各種補助金 町費：町の単費
県費：県の各種補助金 団体費：団体の活動費

取組分野	課題	方針	事業名 ※網掛けは新規事業	事業内容	措置															
					取組主体				計画期間		財源									
					町民等	専門家	行政 社会教育課 その他関係課	前 期	中 期	後 期	国 費	県 費	町 費	団 体 費						
活用	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興を主とした活用や整備が、必ずしも歴史文化の正しい理解につながっていない。 今後、空き家となる歴史的建築物の増加が予想され、それらの活用が課題である。 大都市との連携が十分でない。 まちづくりや教育、福祉などの他分野との連携が十分でない。 案内・解説やアクセス等の活用のための整備が十分でない。 周辺の景観・環境の整備や歴史文化遺産の相互関係の活用が十分でない。 	方針(4) 歴史文化遺産を地域づくりの多様な取組に活かします	(4)-① 歴史文化の正しい理解のもと、歴史文化遺産を観光振興・産業振興に活かします	37 歴史文化を活かした観光振興の方針の検討・実践	これまで開発・整備されてきた商品や施設を歴史文化の正しい理解へとつなげるための活用方策や新たな観光振興方策等の検討を通じた、計画的かつ効果的な取組の実施。	○	○	○	◎				○	○	○					
				38 新たな商品開発・特産品づくり	町民・企業・学生などからの提案やコラボレーションなどを通じた、もち麦をはじめとした多様な歴史文化を活かした新たな商品開発・特産品づくりの取組の推進。	◎	○	○	◎						○	○				
				39 歴史文化を活かしたイベントの開催	楽しみながら歴史文化遺産に触れあい、学ぶことができるイベントや、鉄道・バス事業者や旅行社などと連携した福島の歴史文化の魅力を感じてくれる観光イベントなどの開催。	○	○	◎	◎							○	○	○		
				40 歴史的建築物の活用	登録有形文化財や、歴史文化遺産データベースに掲載する歴史的建築物で空き家となるものの、地域振興に資する施設等としての再生・活用。	◎	○	○	◎							○	○	○		
				41 日本遺産活用推進事業	日本遺産「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」の活用事業の展開。	○	○	◎	◎							○	○	○		
				42 広域連携による活用事業の展開	広域に開く歴史文化遺産や歴史文化ものがたりについて、関係市町村等と連携した活用事業の展開。	○	○	○	◎									○		
				43 地域の歴史文化遺産マップづくり	自治会などによる、歴史文化ものがたりを活かした身近な歴史文化遺産の再確認や町民の誇り・愛着の醸成、町外への魅力発信などのための歴史文化遺産マップの作成。	◎		◎	◎									○	○	
				44 住民企画事業の推進	歴史文化ものがたりや歴史文化遺産を身近な生活環境づくりに活かすための町民等からの提案型の事業(住民企画事業)の推進。	◎		○	○										○	
				45 自治会や小学校区ごとの重点テーマの検討・実践	自治会や小学校区を単位とした重点的に取り組むテーマ等の検討・実践。	◎		○												○
活用	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな活用を見据えた整備や周辺を含めた魅力的な景観・環境づくり 交通ネットワークの整備等を通じた、関連する歴史文化遺産や拠点施設等をつないだ効果的な活用 	(4)-② 歴史文化遺産を豊かな生活環境づくりに活かします	(4)-③ 歴史文化遺産を活かすための環境を整えます	46 歴史文化遺産の活用のための整備	さまざまな活用方法(観光、教育、日常利用など)や活用主体(子ども、高齢者、外国人、障がい者など)を想定した上で、歴史文化遺産の活用のための整備、遊歩道や解説・案内板、便益施設等の整備などの推進。	◎	○	◎	◎						○	○	○			
				47 歴史文化遺産の周辺景観・環境の整備	魅力的な情報発信に資する「神崎十勝」などの景勝の保全・形成や、歴史文化遺産の魅力向上のための周辺景観・環境の整備などの推進。	◎	○	○	◎									○	○	
				48 観光・周遊ルートの設定・整備	歴史文化ものがたりに関する歴史文化遺産を巡るルートの設定・整備。	○		○	◎										○	○
				49 観光・周遊のための交通体系の充実	歴史文化遺産を巡るためのレンタサイクルやサルビア号の活用促進と、交通ネットワークの充実。	○		○	◎											○
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 主体やニーズに応じた戦略的な情報発信ができていない。(共通) 子どもへの分かりやすい情報発信が十分でない。 主体やニーズに応じた戦略的な情報発信ができていない。(共通) 情報の相互リンクなど、効果的な情報発信体制の構築 主体やニーズに応じた戦略的な情報発信ができていない。(共通) 町ホームページの歴史文化情報の構成が分かりにくい。 	方針(5) 価値を正しく理解・共有し、魅力を広く発信します	(5)-① 町民等が歴史文化を身近に感じられる継続的・定期的な情報発信を行います	50 広報誌等による歴史文化情報の発信	『広報ふくさき』(福崎町)、『福崎町文化』(福崎町文化センター)、『うぶすな』[川界隈](柳田国男・松岡家記念館)による継続的・定期的な歴史文化情報の発信。		○	◎	◎								○			
				51 説明会・講演会・シンポジウム等の開催	発掘調査現地説明会や歴史文化に関する講演会、シンポジウム等の開催を通じた、最新の調査・研究成果の地域への還元。		◎	◎											○	○
				52 子ども向けの情報発信	『ふくさき再発見シリーズ』などの学習資料の作成・配信や、子ども向けホームページの開設などの実施。			◎												○
			(5)-② 福崎町の歴史文化の認知度を高め、福崎応援民を獲得・拡大するための魅力的な情報発信を行います	53 観光協会ホームページでの情報発信	福崎町観光協会ホームページにおける、歴史文化ものがたりなどを活かした魅力的な歴史文化情報の発信。			○	◎											○
				54 ペイドメディアを活用した情報発信	マス 4 媒体(新聞、雑誌、テレビ、ラジオ)などのペイドメディアを活用した認知度を上げるための歴史文化情報の発信。				◎	◎										○
				55 多様な媒体・主体を活用した情報発信	SNS やロコサイト、メールマガジンなどの多様な媒体の活用を通じた、民間企業・団体やインフルエンサーなどと連携した効果的な情報発信。	◎			○	○										○
			(5)-③ 福崎町の歴史文化の理解を深めるための情報発信を行います	56 資料館・記念館等の情報発信機能の強化と展示方法等の検討	歴史民俗資料館の展示方法・展示内容の検討、柳田国男・松岡家記念館のリニューアル改修等の実施。			○	○	◎	○									○
				57 町ホームページ等による歴史文化情報の再編・発信	町ホームページの歴史文化情報の体系的な整理・再構成と、これまでの広報に連載してきた記事の再編・発信。					◎										○
				58 解説リーフレットやマップ等の作成	歴史文化遺産の解説や観光・周遊マップ、歴史文化遺産の分布図などのリーフレットの作成・発行。		○			◎	◎									○
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 庁内の十分な連携が図れていない。 主体間の十分な連携が図れず、保存会や福崎町文化観光まちづくり協議会などの活動も限定的である。 これまでは指定等文化財を主な対象としてきたため、指定等を受けていない歴史文化遺産への支援が十分に行き届いていない。 	方針(6) 各取組分野の取組を効果的に展開できる体制を整えます	(6)-① 庁内の歴史文化まちづくりに係る体制を強化します	61 庁内連携体制の整備	歴史文化に詳しい職員の育成などの歴史文化遺産の保存・活用体制の充実、並びに関係各課や関係施設間の連携体制の整備。			◎	◎								○			
				62 取組に対する助言・指導体制の整備	町民等が気軽に相談できる相談窓口の設置と、必要に応じて専門家を派遣して助言・指導を行える体制の整備。				◎										○	
			(6)-② さまざまな主体がそれぞれの役割を認識し、相互に連携して取り組める体制を整えます	63 情報共有・交換の場づくりの検討	町民等をはじめとしたさまざまな主体が連携するための情報共有・交換の場の設置に向けた検討。		◎	◎	◎											○
				64 調査・研究体制の構築	町や各自治会、文化財協力員、小中学校教員、専門家等が連携して、継続的な調査・研究ができる体制の整備。		◎	◎	◎											○
				65 福崎町文化観光まちづくり協議会を中心とした保存・活用の取組	福崎町文化観光まちづくり協議会を中心として、さまざまな主体が連携して保存・活用に取り組める体制の整備。		◎	◎	◎	◎										○
			(6)-① 歴史文化遺産を適切に守り、育み、活かす取組を支える仕組みを整えます	66 (仮称)歴史文化遺産パートナー制度等の検討	企業や大学、民間活動団体等による歴史文化遺産の保存・活用への協力・支援を促進するための文化財保存活用支援団体の指定や「(仮称)歴史文化遺産パートナー制度」の創設の検討。		◎	◎	◎	◎										○
				67 観光客や支援者等と連携した取組の推進	町出身者や関係者、来訪者・観光客などと連携した情報発信や保存・活用の取組の推進。		◎	◎	◎	◎										○
				68 歴史文化遺産データベースの構築・運用	歴史文化遺産データベースの町ホームページでの公開と、町民等からの情報収集による継続的な更新。		○			◎										
	69 「(仮称)ふくさき遺産」認定制度の創設・運用	指定等を受けていない歴史文化遺産のうち、町民等が大切に思うものなどを認定して、その保存・活用の取組を支援する制度の創設・運用。		○	○	◎												○		
	70 歴史文化遺産の保存・活用の取組に対する助成	町民等の保存・活用の取組に対する助成。				◎	◎											○		
	71 資料データベース作成と活用方策の検討	町の所有・保管する資料等の公開活用に向けた資料データベースの作成や公開活用方策の検討。			○	◎												○		
	72 歴史文化情報の発信状況の一元化管理	各施設で発信する歴史文化情報の調整・整合と、案内資料・マップの連携した配布・発信体制の整備。				◎	◎											○		
	73 財源確保の仕組みづくり	ふるさと納税の活用や基金創設など、歴史文化遺産を保存・活用するための財源確保の仕組みの検討・構築。			○	◎	○											○		
	74 観光受け入れ体制の検討・構築	ガイド体制の整備、多言語対応など、多様な観光客の受け入れ体制の検討・構築。		◎	◎	◎	◎											○		
	75 歴史文化人材バンクの創設に向けた検討	専門知識・技術をもつ人材を調査・研究や保存・活用の取組に活用するための人材バンクの創設の検討。		◎	◎	◎	○											○		

重点事業

<p>【取組主体】◎：中心となって取り組む ○：協力して取り組む</p>	<p>【計画期間】前期：～2年（R4～5年度） 中期：3～5年（R6～8年度） 後期：6～7年（R9～10年度）</p>	<p>【財源】国費：国の各種補助金 町費：町の単費 県費：県の各種補助金 団体費：団体の活動費</p>
--	--	---

設定の目的	重点プロジェクト	課題	方針	措置																	
				事業名 ※網掛けは新規事業	事業内容	対応する 基幹事業	取組主体				計画期間			財源							
							町民等	専門家	行政 社会 教育課	その他 関係課	前 期	中 期	後 期	国 費	県 費	町 費	団 体 費				
福崎町の歴史文化の特徴を育み、まちづくりに戦略的に活かし、歴史文化の魅力に磨きをかける	「民俗学のふるさと」の魅力向上プロジェクト	・「民俗学のふるさと」をキャッチフレーズとして、各種まちづくりに取り組んできたが、「民俗学」とは何か、「民俗学のふるさと」の魅力の本質は何か、どのように活かせば良いか、が各取組主体に十分に理解・共有されていない。	方針1 「民俗学」を身近に感じられる環境をつくり出します	1-1	『故郷七十年』等の活用事業	『故郷七十年』や柳田國男の著書、『福崎町史』(千葉徳爾執筆箇所等)などを読む会の開催、『故郷七十年』の注釈書や小学生向けコンテンツの作成などの推進	1 2	◎	◎	◎	○				○	○					
				1-2	民俗文化に触れるフィールドワーク	屋台巡行マップづくり、郷土料理・行事食の調査・食べ比べ、鳥居・狛犬・絵馬等の比較会など、民俗文化に係る調査や地域間での比較などを町民等と一緒に実施	1 17	○	○	◎	○							○			
				1-3	小中学校と連携した民俗文化調査	学校教育との連携のもと、年中行事や民間説話、みちに関わる歴史文化遺産など、民俗文化の過去から現在に至る時系列的な調査・研究の推進	8 17	◎	○	◎	◎							○	○	○	
				1-4	民俗文化の記録等の作成	小中学校と連携した民俗文化調査の成果をとりまとめた報告書やパンフレット等の作成	30	◎	○	◎	◎							○	○	○	
				1-5	「民俗学のふるさと」に係る企画展等の開催	調査・研究成果の展示・報告などの定期的な開催	60	○	○	◎	○							○	○		
				1-6	地域における周遊ルートの検討・マップづくり	小学校区や自治会の区域における民俗文化をテーマとした関連する歴史文化遺産を巡る周遊ルートの検討や周遊マップづくりの実施	43 48	◎	○	◎	◎							○	○	○	○
		・「民俗学のふるさと」としての魅力向上・活用の取組の地域や内容が、限定的である。	方針2 「民俗学のふるさと」の魅力をまちづくりや観光に活かします	1-7 2-1	柳田國男・松岡家記念館のリニューアル等	柳田國男・松岡家記念館の改修等を通じた、福崎町における民俗文化の保存・活用の拠点機能の強化	56	○	○	◎	○						○	○	○		
				2-2	歴史民俗資料館の保管・収蔵・展示機能の充実	民具などの保管・収蔵設備の充実と、展示方法・展示内容の検討による展示機能の充実	29 46 56	◎	○	◎	○							○	○	○	
				2-3	三木家住宅の保存・修理・活用・整備	各棟の修理や土塀補修、厩の復元等と、福崎町における民俗文化の保存・活用の一拠点としての活用に向けた必要な整備	27 46	○	○	◎	○							○	○	○	○
				2-4	柳田國男生家の保存・修理・活用・整備	茅葺(藁葺)屋根の葺き替え等の保存・修理と、福崎町における民俗文化の保存・活用の一拠点としての活用に向けた必要な整備	27 46	◎	○	◎	○							○	○	○	
				2-5	歴史的建造物の活用に向けた整備	辻川界隈の歴史的建造物のうち、可能なものについてのまちづくりや周遊観光の拠点としての整備の推進	40	◎	○	○	◎							○	○	○	○
				2-6	観光ガイドやかたりべの育成・活用	観光ガイドやかたりべの育成を通じた、観光受け入れ体制の整備	12 74	◎	○	◎	◎							○	○	○	
2-7	福崎町文化観光まちづくり協議会を中心とした観光振興方策の検討・実践	辻川界隈を中心に、町内外の各地域と連携した観光振興のあり方や、柳田國男・松岡家記念館、歴史民俗資料館、大庄屋三木家住宅等の各施設の役割分担等の検討・実践	37 65	◎	◎	◎	◎							○	○	○	○				
2-8	小学校区や自治会単位での重点的な取組の検討・実践	民俗文化を中心とした関連する歴史文化遺産の整理のもと、取組対象や内容の検討・実践	45	◎		○										○					
2-9	観光・周遊ルートの設定・整備	古くからの道筋を中心に、そこに伝わる民間説話などを手掛かりとした各地域をつなぐ周遊ルートの検討・設定と道筋の景観づくり等の推進	48			○	◎							○	○	○					
2-10	周遊案内機能の充実	「民俗学のふるさと」に関連する歴史文化遺産の案内板・解説板の整備や観光アプリの充実(音声ガイドの搭載など)	46 58 59	◎	○	◎	◎							○	○	○					
2-11	観光・周遊のための交通体系の充実	歴史文化遺産を巡るためのレンタサイクルやサルビア号の活用など、観光・周遊の推進のための交通ネットワークの充実	49	○		○	◎									○					
2-12	民間企業等と連携した民俗文化の保存・活用	町内企業等による(仮称)歴史文化遺産パートナー制度の活用や旅行者等と連携した祭り・行事等の公開・活用などの検討・推進	39 66 67	◎		◎	◎									○	○				

福崎町文化財保存活用地域計画

令和4年7月
兵庫県神崎郡福崎町
